

2025年のアメリカ株投資

－トランプのアメリカに投資する切り口－

2025年2月22日

楽天証券経済研究所

チーフアナリスト 今中 能夫

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔ゼロコース（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文のご利用が必須となります。

（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。

※1 SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。

※2 「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。

※3 ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場(ToSTNeT)に発注を行い約定させるシステムをいいます。

〔ゼロコース（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

【いちにち定額コース】

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

【かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用】

リスクについて

かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

売買手数料は無料です。

かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。レバレッジ型 E T F 等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われなかった場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

●株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応していません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

●税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

外国株式のリスクと費用について

■外国株式 海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.275%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式信用取引】

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

- 約定代金の0.33%（税込）
- ・最低手数料：0米ドル
- ・上限手数料：16.5米ドル（税込）

米国株大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。米国株大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

【米国株式信用取引（米国株大口優遇）】

約定金額にかかわらず取引手数料は0米ドルです。

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資信託のリスクと費用について

【投資信託の取引にかかるリスク】

主な投資対象が国内株式：組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

主な投資対象が円建て公社債：金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの：組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

【投資信託の取引にかかる費用】

各商品は、銘柄ごとに設定された買付又は換金手数料（最大税込4.40%）および管理費用（含む信託報酬）等の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用「手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用「管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、管理費用（含む信託報酬）、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませようお願いいたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

【毎月分配型・通貨選択型ファンドに関するご注意について】

投資信託は、預貯金とは異なり元本が保証されている金融商品ではありません。下記コンテンツでは、毎月分配型ファンドの分配金の支払われ方および通貨選択型の収益に関するご案内をしております。投資家の皆様につきましては、当該ファンドへの投資をご検討なさる前にぜひご確認くださいませようお願い申し上げます。

(<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/info/info20110801-01.html>)

レポート週1本、動画週1～3本を配信中



〔動画で解説〕 特集：
DeepSeek（生成AIとAI半
導体の大ブームの転換点と
なるか）

特集記事
2025/1/31



特集：DeepSeek
（DeepSeekは生成AIとAI
半導体の転換点となるか）

楽天証券投資weekly セクター・投資テー
マ編
2025/1/31

本日のメニュー

1. なぜトランプ氏がアメリカ合衆国大統領になったのか
2. トランプ大統領の政策
3. DeepSeekと生成AI、AI半導体
4. 「非主流派」銘柄に注目したい
5. まとめと注目銘柄

1. なぜトランプ氏がアメリカ合衆国大統領になったのか

● 2024年アメリカ合衆国大統領選挙の結果

- ✓ 選挙人獲得数は、トランプ氏312、ハリス氏226。
- ✓ 得票数はトランプ氏7730万3573票（49.9%）、ハリス氏7501万9257票（48.4%）。
- ✓ 州ごとに見ると、トランプ氏勝利30州、ハリス氏勝利20州。

● 大統領選挙と同時に行われた上下両院選挙の結果

- ✓ 上院は共和党53、民主党47（改選前は共和党49、民主党51）
- ✓ 下院は共和党220、民主党215（改選前は共和党220、民主党212）
- ✓ 共和党下院議員のうち2人が既に議員辞職（フロリダ州）、1人が議員辞職する見込み（ニューヨーク州）。
- ✓ 4月1日にフロリダ州下院補欠選挙がある。ニューヨーク州は未定。
- ✓ 下院補選で共和党全勝で現状維持。全敗なら民主党が1議席だけ優位になる。

● アメリカ国民が抱える問題

- ✓ 物価があまりにも高すぎる。家賃も高く、ホームレスが増加中。住宅価格も新築、中古ともに高く、住宅ローン金利も高いため、家を買えない。
- ✓ アメリカと日本の一人当たり平均年収の差は約2.1倍（2022年）だが、平均物価の差は3倍以上か。これでは暮らしていけないと考える国民が多くなっている。
- ✓ 民主党の犯罪者に対する姿勢が甘かったため犯罪が多い。
- ✓ 移民、不法移民が多いが、不法移民は国や州の援助で良いところに住んでいる。不法移民が賃金が下がる要因になっているという不満も多い。
- ✓ LGBTQが行きすぎた。ESGは何の役にも立たない。
- ✓ アメリカの1億3220万家計のうち、年間世帯所得が10万ドル未満の家計が59.1%、12万ドル未満が67.3%を占める（2023年）。ニューヨークでは年収10万ドル（約1500万円）では生活できないため、アメリカの家計の60～70%は生活に困難を感じていると思われる。

- ✓ **民主党の経済政策とFRBの金融政策は失敗だった。トランプ大統領に与えられた課題は実に重い。**
- ✓ **ただし、バイデン政権下で多くの成長企業が出てきたのも事実。**

2. トランプ大統領の政策

● トランプ大統領就任演説の中身

- ✓ アメリカを第一に考える。
- ✓ 南部国境に非常事態宣言。軍隊の派遣→不法移民対策。
- ✓ 国家エネルギー非常事態宣言。化石燃料増産。
- ✓ パリ協定離脱。大規模な風力発電所に対するリースを終了。
- ✓ 性別は男と女の二つだけ。
- ✓ 電気自動車の義務化を撤回する。
- ✓ 外国歳入庁を設置。貿易制度の見直しに着手。アメリカ国民に課税してほかの国々を潤すのではなく、国民を豊かにするために外国に関税を課して税金をかける。
- ✓ 政府による検閲を全て停止。

- ✓ パナマ運河を取り戻す。
- ✓ 政府効率化省を設立。
- ✓ 世界最強の軍隊を取り戻す。
- ✓ 敵性外国人法を発動。外国人ギャング、犯罪組織を排除。
- ✓ 火星にアメリカの宇宙飛行士を送り込む。
- ✓ 必要不可欠な分野を除いて官僚の採用を凍結する。DEI（多様性、公平性、包括性）推進はやめる。
- ✓ 在宅勤務を大幅に削減する。

- **トランプ大統領の大統領令（大統領就任式後、1日で署名した主な大統領令）**

- ✓ 「メキシコ湾」を「アメリカ湾」に、北アメリカ大陸最高峰の山「デナリ」を「マッキンリー」に名称変更
- ✓ 麻薬カルテルを外国テロ組織に指定
- ✓ 連邦政府職員の雇用プロセスの見直し
- ✓ 「多様性」や「公平性」などを意味する政府の行き過ぎたDEIプログラムを廃止
- ✓ 政府が認める性別は男性と女性の2つの性のみとする
- ✓ “政府効率化省”の設置
- ✓ 国務長官主導の“アメリカ第一主義”
- ✓ 外国のテロリストや安全保障上の脅威からアメリカを守る
- ✓ アメリカ国民を侵略から守る
- ✓ アメリカの対外援助の見直し
- ✓ 国家エネルギー緊急事態の宣言
- ✓ “死刑制度の復活”と公共の安全の保護

- ✓ 国境管理の厳格化
- ✓ 出生地主義を見直し
- ✓ 移民の受け入れプログラムの見直し
- ✓ グリーン・ニューディール政策の終了と“EVの義務化”の撤廃など
- ✓ アメリカの領土を守る軍の役割の明確化
- ✓ 選挙妨害や機密情報の不適切な開示に対する前政権高官の責任追及
- ✓ WHO = 世界保健機関からの脱退
- ✓ “TikTok禁止法”の75日間の執行を猶予
- ✓ パリ協定からの離脱
- ✓ “政府の武器化を終わらせる”
- ✓ 言論の自由の回復と政府による検閲の停止
- ✓ 2021年1月に連邦議会に乱入した事件に関与した人たちに恩赦や減刑
- ✓ バイデン前政権の78の大統領令などの撤回

● 大統領令以外で署名した主な文書（大統領就任式後、1日で署名した主な文書）

- ✓ 風力発電のプロジェクトに対するリースの停止
- ✓ “アメリカ第1主義”の貿易政策
- ✓ 南部の国境の非常事態を宣言
- ✓ 連邦政府職員の採用凍結
- ✓ 政府職員の在宅勤務を終了し、職場で働くことを要請
- ✓ 就任式の日には国旗を掲揚する

- 米国の大統領令は、議会の承認なしに出すことができ、直ちに法的拘束力を持つ。ただし、憲法の範囲内のことしかできない、新しい予算を必要としない命令に限る、命令できるのは国民に対してではなく行政機関に対してである、という制約がある。
- 議会が命令発効を禁じる法律を制定したり、連邦最高裁が違憲判断を下したりすれば効力を失う。
- 米国で生まれた子供に米国国籍を与える「出生地主義」は憲法に明記されているので、それを見直すという大統領令がでても最高裁判所が違憲と判断すれば効力を失う。

● 大統領就任式後に署名した大統領令（主なもの）

- ✓ 特定国への関税に関する大統領令（複数ある。関税引き上げと引き上げの延期など、対メキシコ、カナダ、中国など）。
- ✓ 国連人権委員会からの離脱。
- ✓ ICC（国際刑事裁判所）職員などへの制裁を可能にする。
- ✓ 連邦職員への早期退職勧奨。
- ✓ ただし、複数の州の連邦地裁で大統領令に対する差し止め判決を出す例がでてきている。

● トランプ氏は、2022年インフレ抑制法とCHIPS・科学法を廃止したい

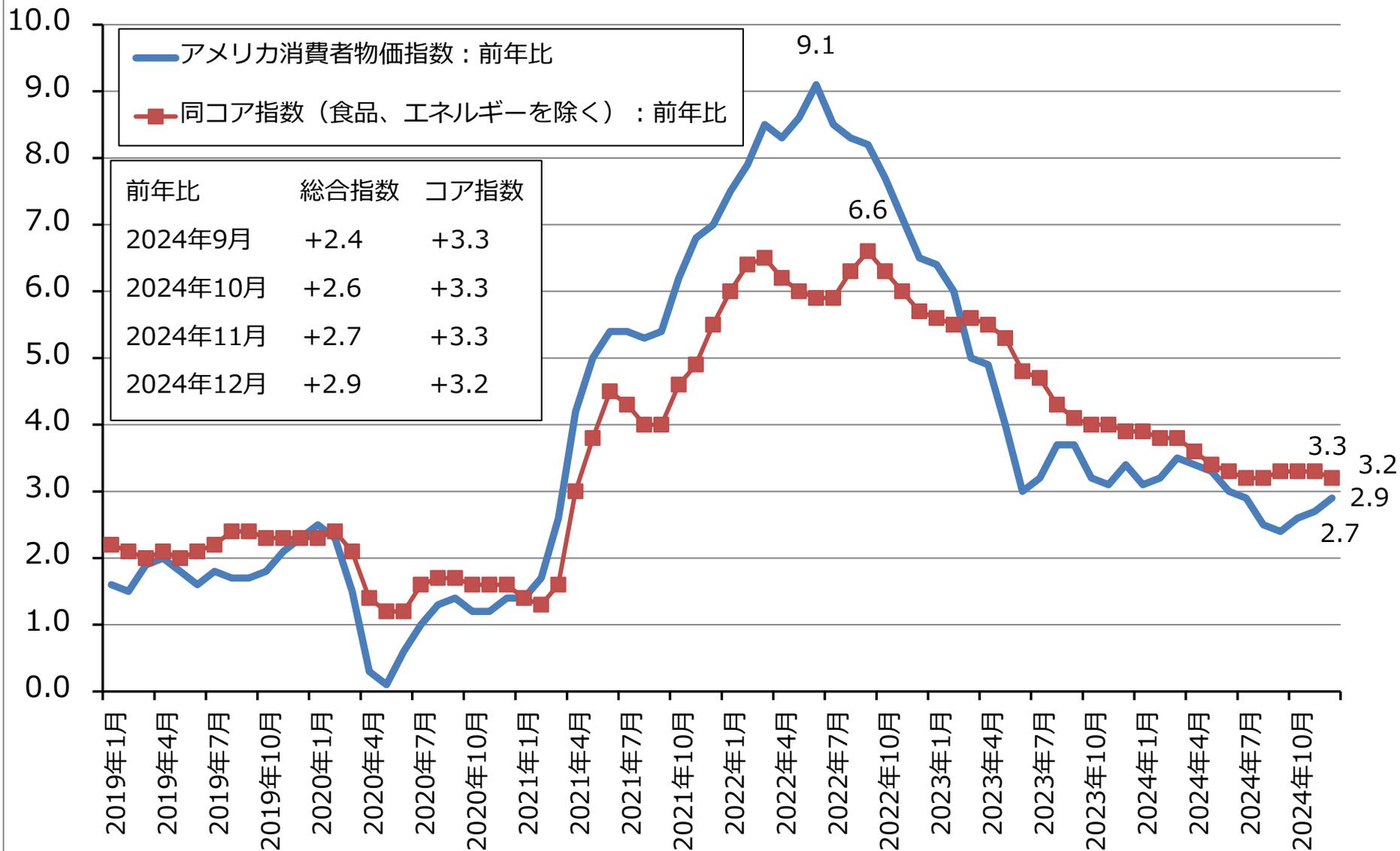
- ✓ 2022年インフレ抑制法（IRA）は、10年間で3910億ドルの気候変動対策予算を設定している。太陽光発電や風力発電などの代替エネルギーやEV（電気自動車）に対する補助金（購入補助金等）がこの予算の中に含まれている。
- ✓ CHIPS・科学法は、アメリカ国内で半導体工場を建てようとする半導体メーカーに一定の条件のもとに建設補助金を支給するもの。インフレ抑制法と並んでバイデン政権の目玉政策。

● **トランプ氏の政策は、**

- ✓ その国の国民から徴収した税金は、その国の国民のために使う。
- ✓ 中低所得者に優良な雇用を提供し、賃金を上げる。
- ✓ 低賃金労働者だけでなく、犯罪者、薬物の流入を阻止するため、移民は大幅に制限し不法移民は送還する。国境は封鎖する。
- ✓ 規制緩和、歳出削減で自由な経済活動を進める。選択の自由を重視する。
- ✓ 補助金をできるだけ使わない。関税を他国との交渉材料に使う。
- ✓ ダメもとで大統領令を乱発する。
- ✓ これまでにない発想の国際関係に対する姿勢→不確実性が高い。
- ✓ 支離滅裂になる可能性も。
- ✓ 不法移民の強制送還と関税引き上げ、または関税引き上げを材料にした交渉を同時に行っている→労働需給が逼迫し、輸入物価が上昇する要因。一方で政府組織のリストラ、DEIの廃止も行っている→失業率が上がり景気を冷やす要因。今後の経済指標に注意したい。

アメリカの消費者物価指数：前年比

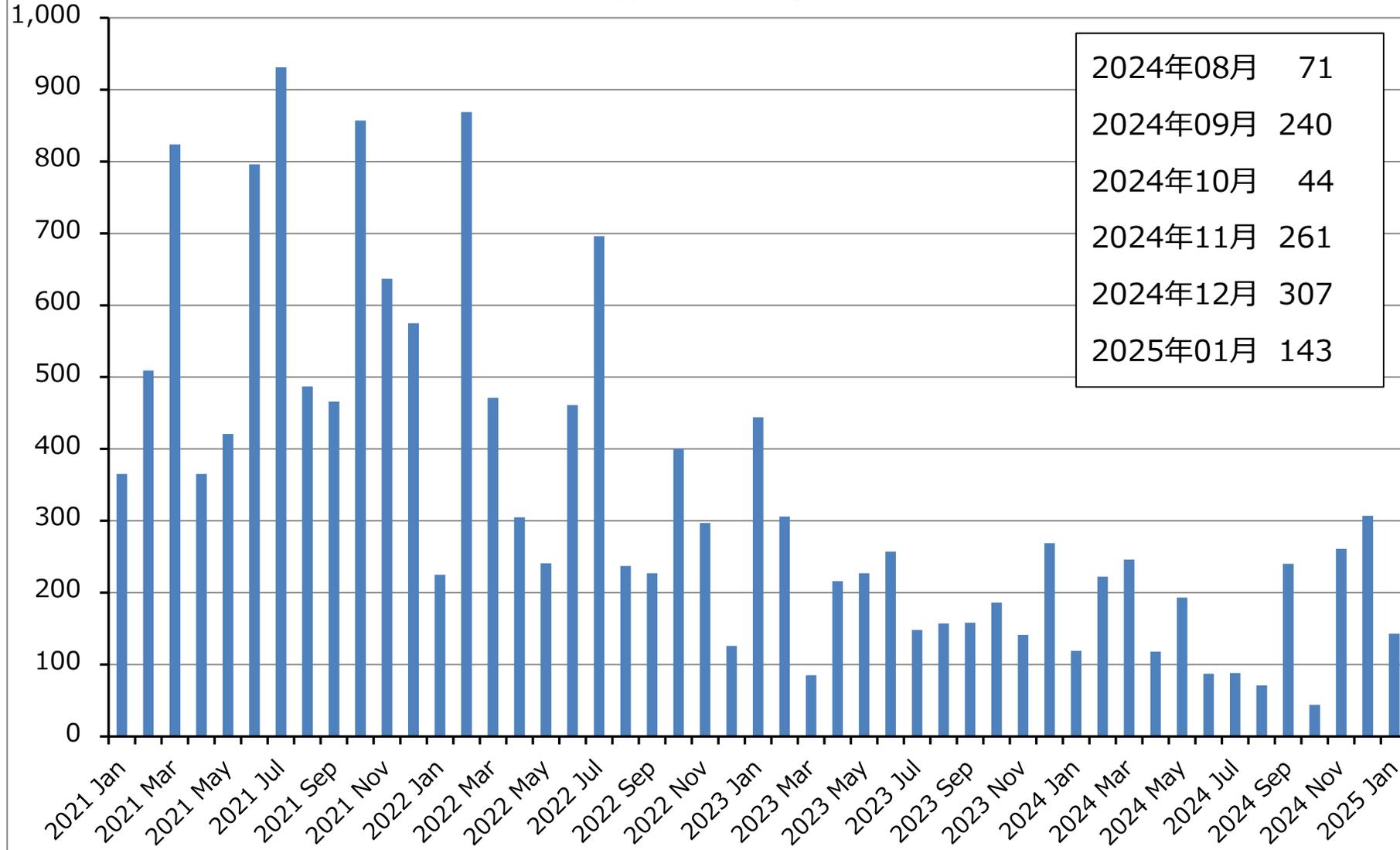
(単位：%、出所：U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICSより楽天証券作成)



アメリカ雇用統計：非農業部門雇用者数前月比

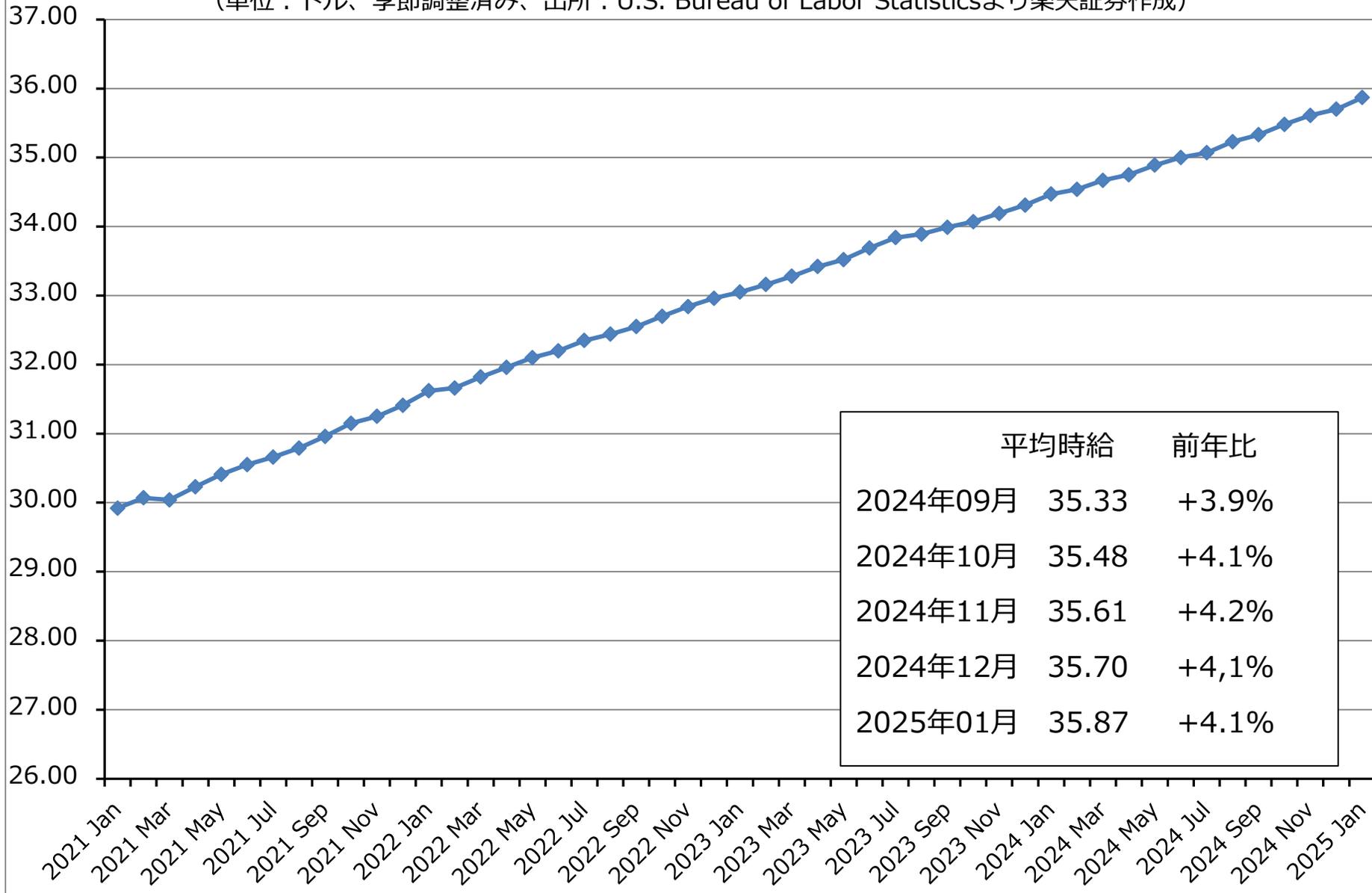
(単位：1000人、季節調整済み、出所：U.S. Bureau of Labor Statisticsより楽天証券作成。2025

年1月分発表時に過去の統計を修正)



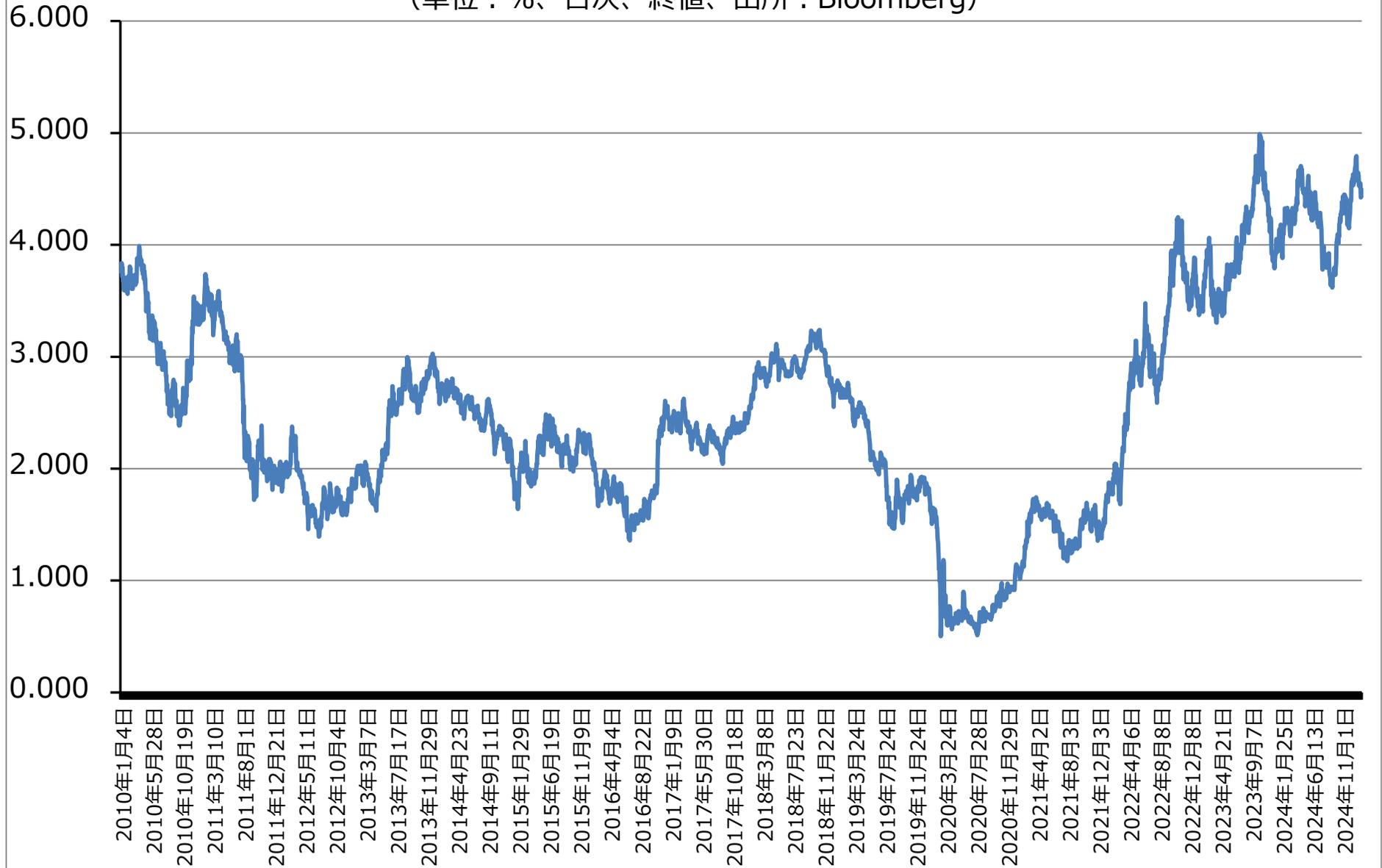
アメリカ平均時給：全就業者、民間部門

(単位：ドル、季節調整済み、出所：U.S. Bureau of Labor Statisticsより楽天証券作成)



アメリカ10年国債利回り

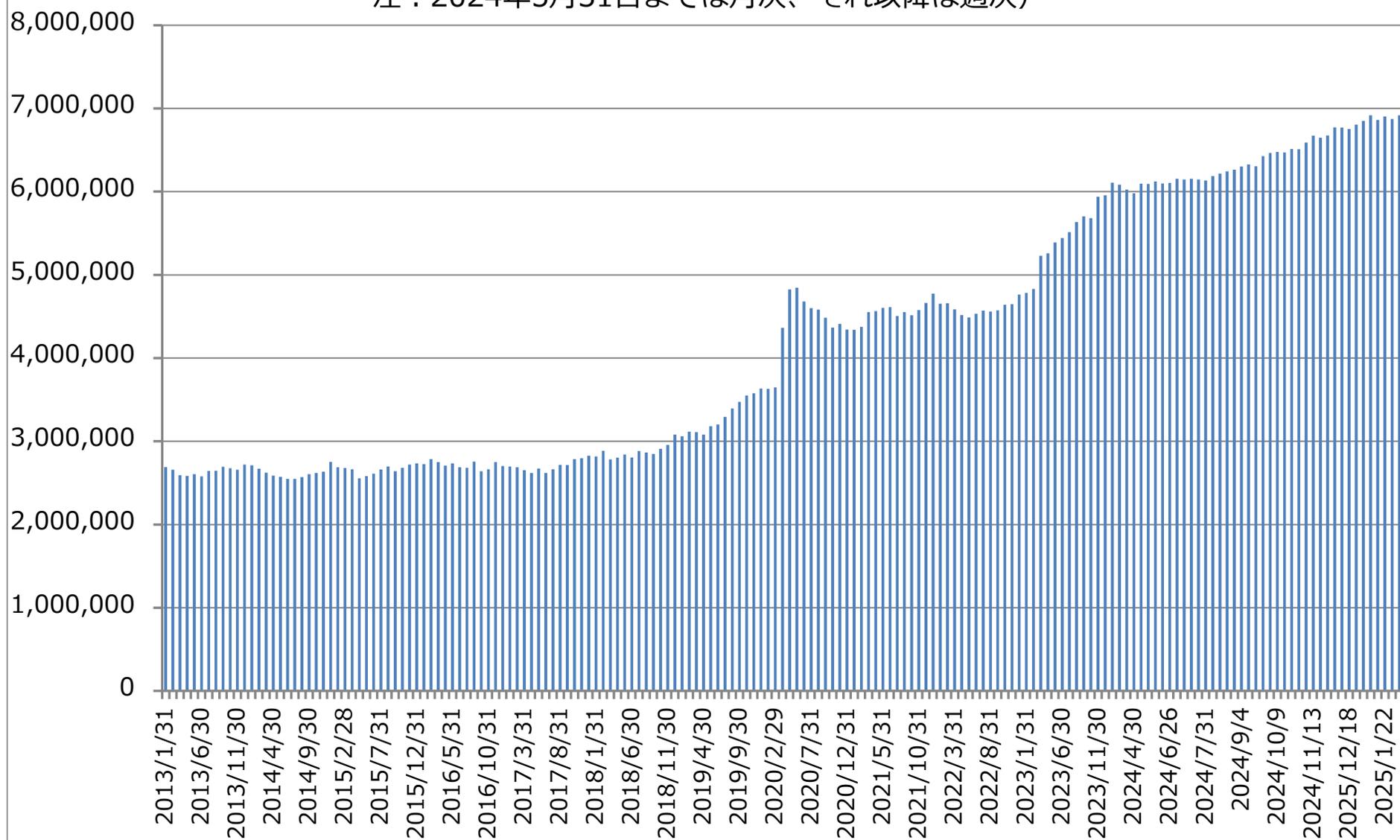
(単位：%、日次、終値、出所：Bloomberg)



アメリカのマネーマーケットファンド (MMF) 残高

(単位：100万ドル、出所：アメリカ投資信託協会 (ICI) 、

注：2024年5月31日までは月次、それ以降は週次)



3. DeepSeekと生成AI、AI半導体

● DeepSeekとは何者？

- ✓ 2025年1月20日、中国のAIスタートアップ「DeepSeek」は大規模言語モデル「DeepSeek-R1」をオープンソース（MITライセンス）で公開した。個人で使うのも商用利用もOK。
- ✓ 1月24日には中国で、27日にはアメリカのAppStoreダウンロードランキングで1位に。
- ✓ OpenAIの最新モデル「o1」と同等の性能を持つというふれこみ。
- ✓ ベンチマークテストの結果も良好。
- ✓ 対話型AI。文書生成、ChatBot、プログラミング生成などにも使う。
- ✓ 1月28日には、画像生成「Janus Pro」を公開。「Janus Pro」はOpenAIの画像生成AIであるDALL-E 3を上回る性能を持つとアピールされている。MITライセンスで公開。
- ✓ 低コストで開発された。開発費560万ドルと言われている。

- ✓ 問題点：正答率が低い。オープンAIのデータを不正利用している可能性がある。
- ✓ マイクロソフトがAzureの顧客向けメニューに「DeepSeek-R1」を採用した。

- **DeepSeekはどのようにして開発されたのか**

- ✓ 「学習」のやり方が独特で、他の生成AIと比較して様々な工夫を行い「強化学習」のみで学習している。
- ✓ 「Knowledge Distillation(知識蒸留)」と呼ばれる手法を採用。オープンAIなど同業他社の大規模言語モデルを「教師役」として使い、その膨大な知識やパラメーターを直接受け継ぐことによって、より速く効率的に開発している。ただし、オープンAIの利用規約はデータ抽出を禁じているため、これは不正行為ではないかと疑われている。

- ✓ エヌビディア製AI半導体を使って生成AIを開発する場合、通常は「CUDA (Compute Unified Device Architecture. クーダ)」というエヌビディアが構築したソフトウェア開発支援ソフトを使う。非常に優秀なソフトだが、価格が高いと言われている。
- ✓ ところが、DeepSeekは「CUDA」を使わず、PTX (Parallel Thread Execution) と呼ばれるNVIDIAのGPU向け仮想アセンブリ言語を直接書いてGPUのプログラミングを行っている。通常は、CUDA → PTX → SASS (ハードウェア実行コード) という流れになるが、CUDAを使わず、PTXをいきなり使ってプログラミングしている。
- ✓ これによってコストを削減するとともにGPUの高速化を実現した。ただし、かなり水準の高い開発者が必要になる。
- ✓ もしこのやり方が開発手法として確立されると、低コストの生成AIが幅広く実現する可能性がある。

- ✓ 米国の大手生成AI開発会社、アンソロピックのCEO、ダリオ・アモデイ氏の分析によると、DeepSeekは約5万個のエヌビディア製AI半導体（中身は、H100、H800、H20の3種類）を保有しており、その総額は推定約10億ドル。
- ✓ この投資規模は、米国の主要AI企業の計算用インフラストラクチャーと比較しても、わずか2-3倍の差に収まる範囲だとアモデイ氏は分析している。
- ✓ また、米国調査機関のセミアナリシスが、1月31日に発表したレポートでは、DeepSeek V3（R1の1つ前のバージョン）の「学習コストが600万ドル以下」については、事前学習時のチップのコストのみと分析。
- ✓ DeepSeekは、約1万個のH800、約1万個のH100、約3万個のH20、計5万個以上のエヌビディア製GPUを保有していると推定。また、DeepSeekのサーバー設備投資は約16億2900万ドル（約2460億円）、運用コストは9億4400万ドル（約1430億円）と試算。
- ✓ オープンAI、アンソロピックなどのアメリカの大手生成AI開発会社が1~2兆円の資金を集めていることを考えると、DeepSeekのサーバー設備投資は2分の1から3分の1か。運用コストは収益で吸収すればよい。

● 低価格生成AIは生成AI普及を促進するだろう。

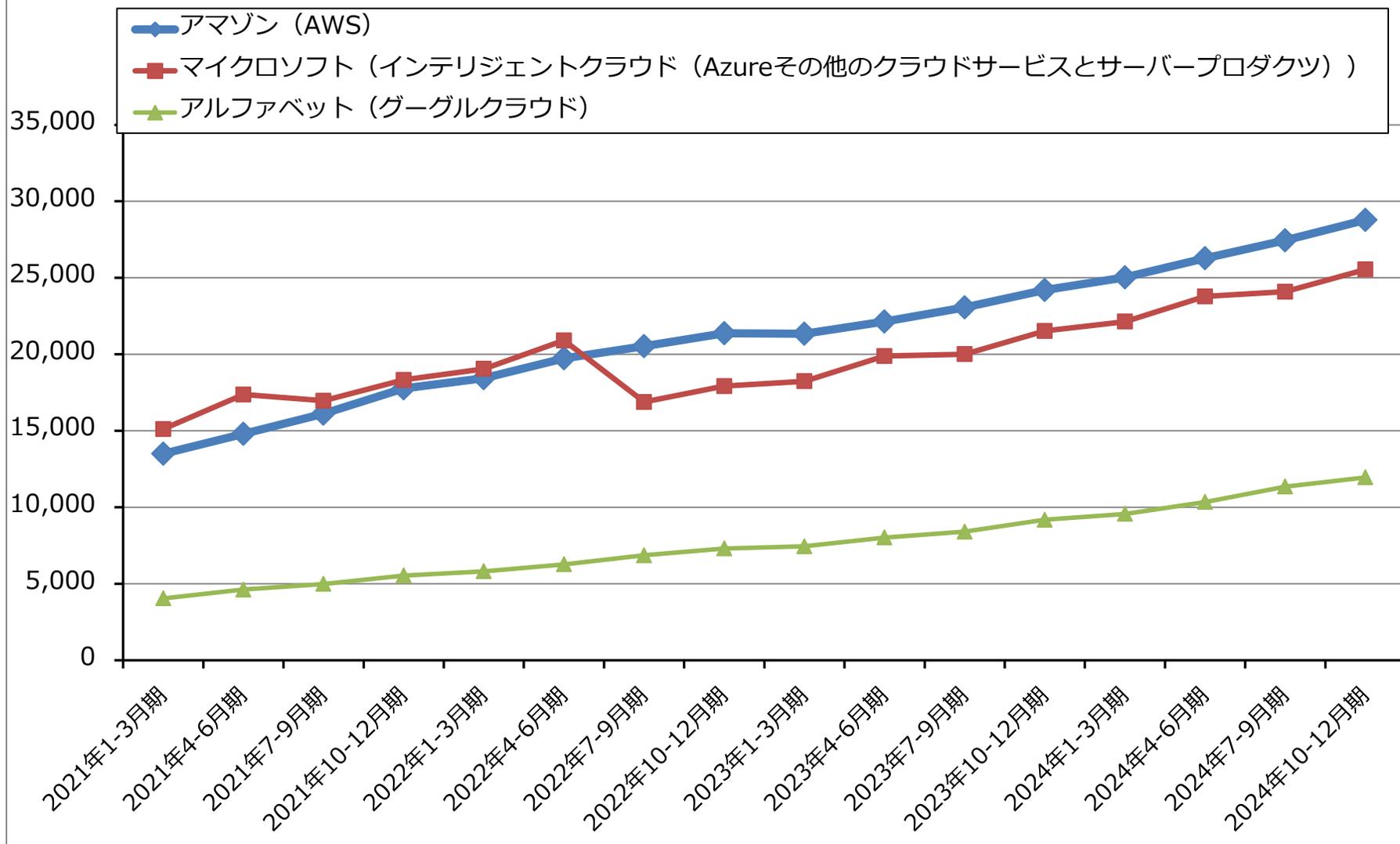
- ✓ DeepSeekの開発費560万ドルという数字には疑問がある。ただし、アメリカの大手生成AI開発会社の概ね半分以下の費用で開発し、運用しているのではないか。
- ✓ 従来は数千億円の開発費を投じていたものが半分以下で済む場合、生成AI開発会社の開発計画と、その生成AIを企業システムに組み込むことを検討している企業ユーザーの情報化投資計画は練り直しになる可能性がある。
- ✓ 生成AIの開発がいくつにも枝分かれするだろう。低コスト生成AIの開発に資金が集まる可能性がある。
- ✓ DeepSeekを欧米と日本の企業がそのまま使うことは考えにくい。ただし、その国に適合するように追加学習を行うケースもある。DeepSeekのような低価格高性能生成AIが大手クラウドサービスの顧客に受け入れられた場合には、大手企業だけでなく、中堅・中小企業に生成AIが幅広く普及することになる可能性がある。
- ✓ マイクロソフトがAzureに「DeepSeek-R1」を採用した背景には、低価格高性能の生成AIは幅広い顧客を集めることができ、顧客企業のシステムに組み込む需要を取り込むことができるという目論見があると思われる。

● AI半導体の成長率が鈍化する懸念も。

- ✓ DeepSeekが、アンソロピックのCEOやセミアナリシスが分析するように、「H100」「H800」「H20」を数万台使ったのが事実ならば、1世代前のAI半導体を使って学習したことになる。コストパフォーマンスの良い「Blackwell」を使えば、更に安い資金でシステムが構築できる可能性がある。
- ✓ ただし、低コスト高性能生成AIが普及すると、従来予想されていたよりもAI半導体の成長率が数量ベースでも金額ベースでも鈍化する可能性がある。
- ✓ また、AI半導体の需要の中心が、エヌビディアの最新型AI半導体「Blackwell」で言えば、エヌビディアが売りたいがっている性能が高いが価格も高い「GB200」「GB200NVL72」よりも、価格が安い「B200」「H200」にシフトする可能性もある。

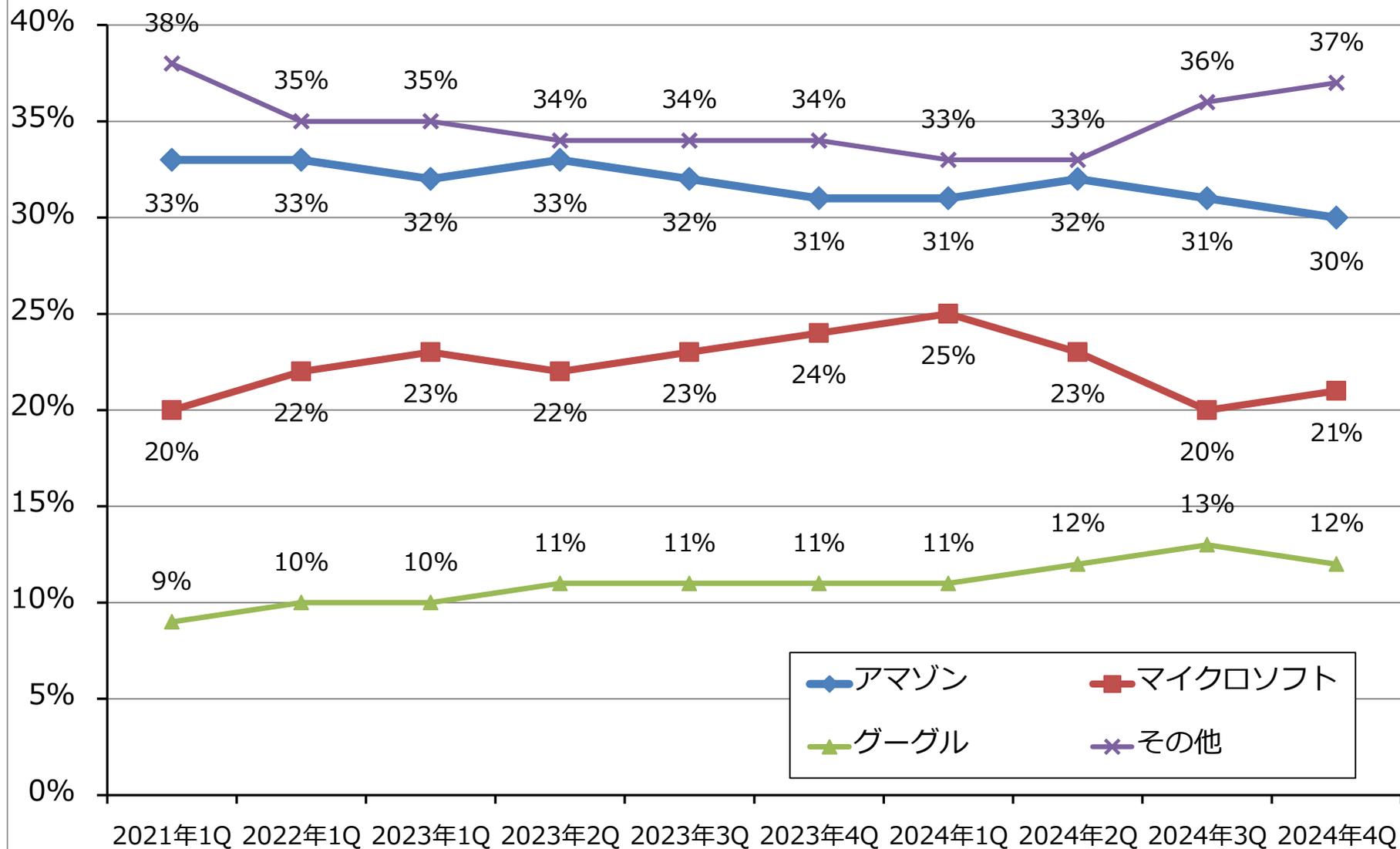
クラウドサービス大手3社のクラウドサービス売上高

(単位：100万ドル、出所：各社資料より楽天証券作成、注：マイクロソフトは2022年7-9月期より
開示区分を変更したため、それ以前と接続しない)



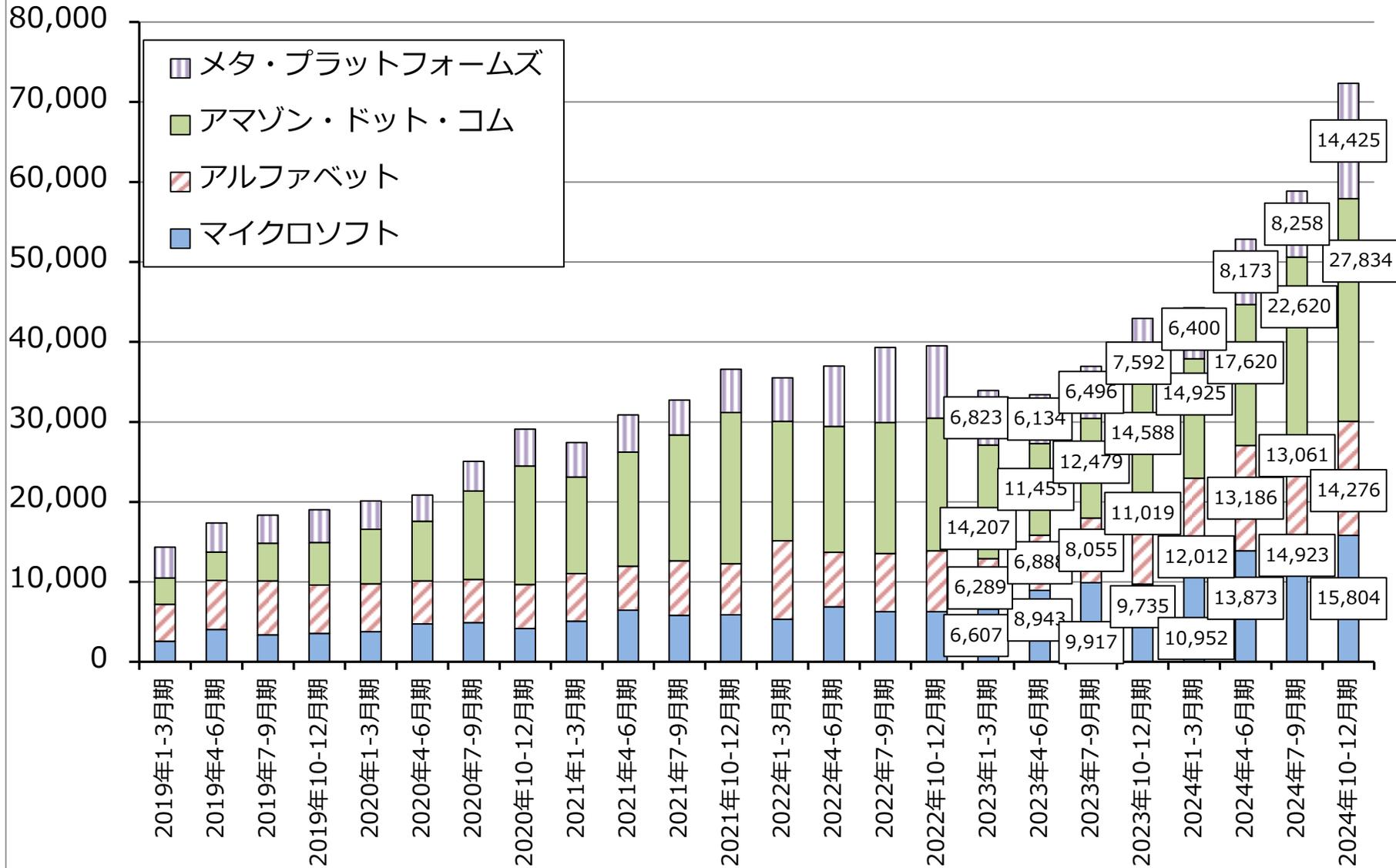
クラウド・インフラストラクチャー・サービス市場の世界シェア

(出所 : Synergy Research groupプレスリリースより楽天証券作成)



アメリカの大手IT設備投資動向：四半期

(単位：100万ドル、出所：各社資料より楽天証券作成)



マイクロソフトの業績

	2024年6月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年6月期 1Q	2Q	3Q会社予想
売上高	56,517	62,020	61,858	64,727	65,585	69,632	68,200
前年比	12.8%	17.6%	17.0%	15.2%	16.0%	12.3%	10.3%
営業利益	26,895	27,032	27,581	27,925	30,552	31,653	30,000
営業利益率	47.6%	43.6%	44.6%	43.1%	46.6%	45.5%	44.0%
前年比	25.0%	32.5%	23.4%	15.1%	13.6%	17.1%	8.8%
当期純利益	22,291	21,870	21,939	22,036	24,667	24,108	23,780
前年比	27.0%	33.2%	19.9%	9.7%	10.7%	10.2%	8.4%

単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

マイクロソフト：セグメント別業績（四半期）

	2024年6月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年6月期 1Q	2Q	3Q会社予想
プロダクティビティ&ビジネスプロセス							
売上高	25,226	25,854	27,113	28,627	28,317	29,437	29,550
前年比	14.3%	14.4%	13.3%	12.0%	12.3%	13.9%	9.0%
営業利益	14,297	14,515	15,143	15,706	16,516	16,885	
営業利益率	56.7%	56.1%	55.9%	54.9%	58.3%	57.4%	
前年比	19.7%	26.4%	18.5%	13.2%	15.5%	16.3%	
インテリジェントクラウド							
売上高	20,013	21,525	22,141	23,785	24,092	25,544	26,050
前年比	18.5%	20.1%	21.4%	19.6%	20.4%	18.7%	17.7%
営業利益	8,908	9,555	9,515	9,835	10,503	10,851	
営業利益率	44.5%	44.4%	43.0%	41.3%	43.6%	42.5%	
前年比	32.0%	42.0%	35.6%	24.2%	17.9%	13.6%	
パーソナルコンピューティング他							
売上高	11,278	14,641	12,604	12,315	13,176	14,651	12,600
前年比	1.0%	19.8%	17.9%	14.5%	16.8%	0.1%	0.0%
営業利益	3,690	2,962	2,923	2,384	3,533	3,917	
営業利益率	32.7%	20.2%	23.2%	19.4%	26.8%	26.7%	
前年比	30.5%	35.3%	14.2%	-3.2%	-4.3%	32.2%	

単位：100万ドル

出所：会社資料より楽天証券作成

注：会社予想は予想レンジの平均値。

マイクロソフトの業績

	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期 楽天証券予想 (前回)	2025年6月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)	2026年6月期 楽天証券予想 (前回)	2026年6月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)
売上高	211,915	245,122	283,000	277,000	332,000	316,000
前年比	6.9%	15.7%	15.5%	13.0%	17.3%	14.1%
営業利益	88,523	109,433	129,000	127,000	157,000	150,000
営業利益率	41.8%	44.6%	45.6%	45.8%	47.3%	47.5%
前年比	6.2%	23.6%	17.9%	16.1%	21.7%	18.1%
当期純利益	72,361	88,136	103,800	102,200	126,300	120,700
前年比	-0.5%	21.8%	17.8%	16.0%	21.7%	18.1%
EPS	9.69	11.80	13.90	13.69	16.91	16.16
配当	2.72	3.00	3.00	3.32	3.00	3.32
PER	42.3	34.7	29.5	29.9	24.2	25.4

株価 409.75 ドル (2025年2月7日)

時価総額 3,046,491 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 7,468 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 7,435 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

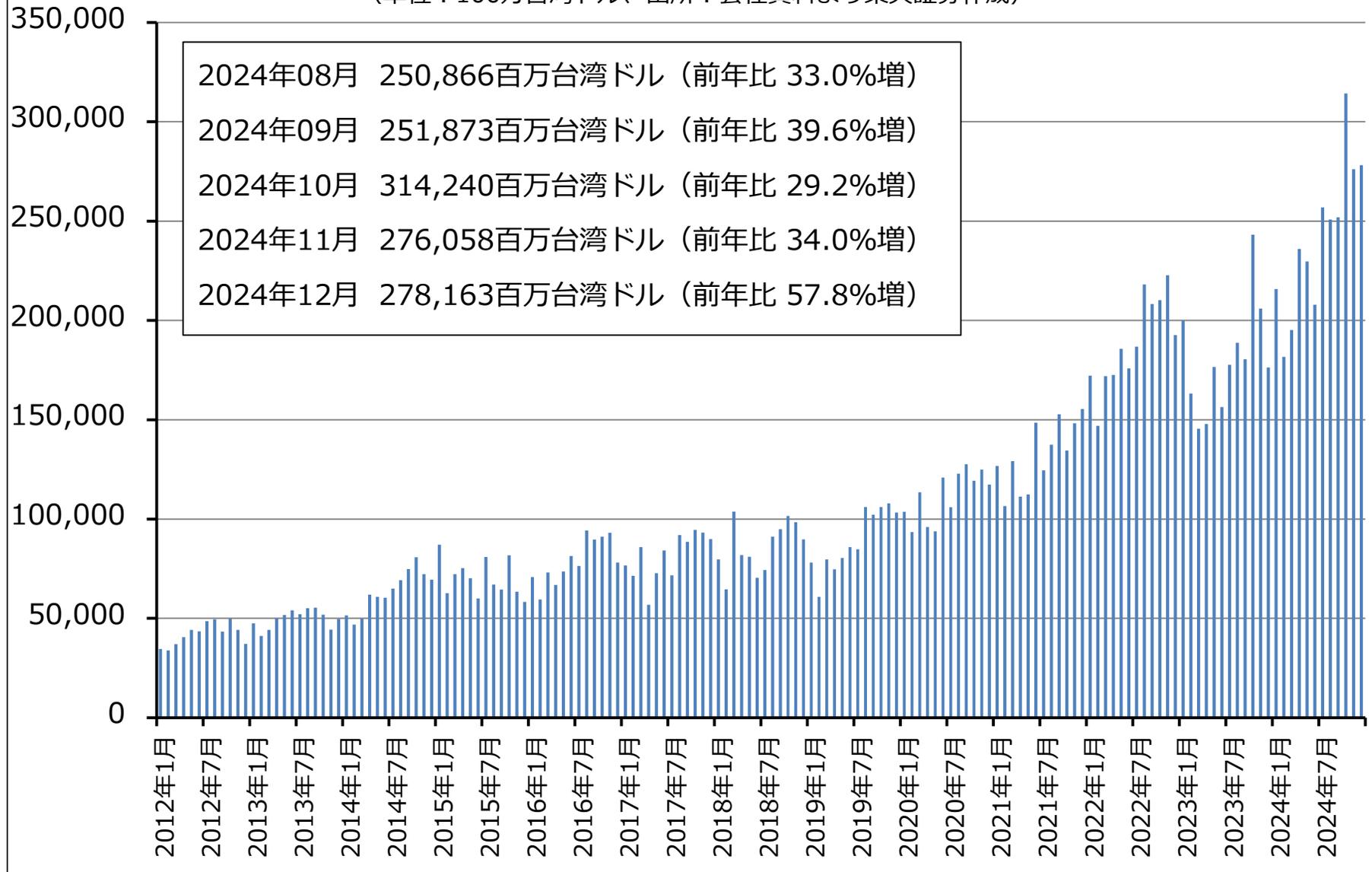
半導体

- ✓ AI半導体とHBMは需要旺盛。
- ✓ スマートフォン向け、パソコン向けは振るわない。
- ✓ 成熟半導体は分野によるが、全般的に大きな伸びはない。
- ✓ AI半導体は最先端の生産ラインではなく、1～2世代前の生産ラインを使う。その割に高く売れるため、AI半導体（HBMを含む）主導の半導体デバイス市場が続く限り、エヌビディアとTSMCは大きな利益を上げ続けると思われる。
- ✓ トランプ政権が今よりも強硬な対中国半導体製造装置輸出規制を導入した場合、先端、成熟問わず半導体デバイスのサプライチェーンが混乱し、半導体デバイスの価格が上昇する可能性がある。
- ✓ TSMCの地政学的リスクは、トランプ政権下で上昇すると考えておいたほうがよいだろう。

- ✓ インテルは先端半導体の投資競争から脱落したと思われる。
- ✓ 東京エレクトロン等の前工程メーカーは、2025年のWFE（ウェハープロセス装置）を2024年比横ばいと予想している。2026年は二桁増と予想。
- ✓ 後工程では2025年から先端パッケージング（2.5Dパッケージング）への投資が本格化すると思われる。
- ✓ DeepSeekの影響は、出るとしてもこれからになるろう。
- ✓ AI半導体関連のエヌビディア、ブロードコム、TSMC、マイクロン・テクノロジー、半導体製造装置のASMLホールディング、東京エレクトロン、アドバンテスト、ディスコ、レーザーテックは、一旦手仕舞いか、ポジション縮小を検討したほうがよいと思われる。

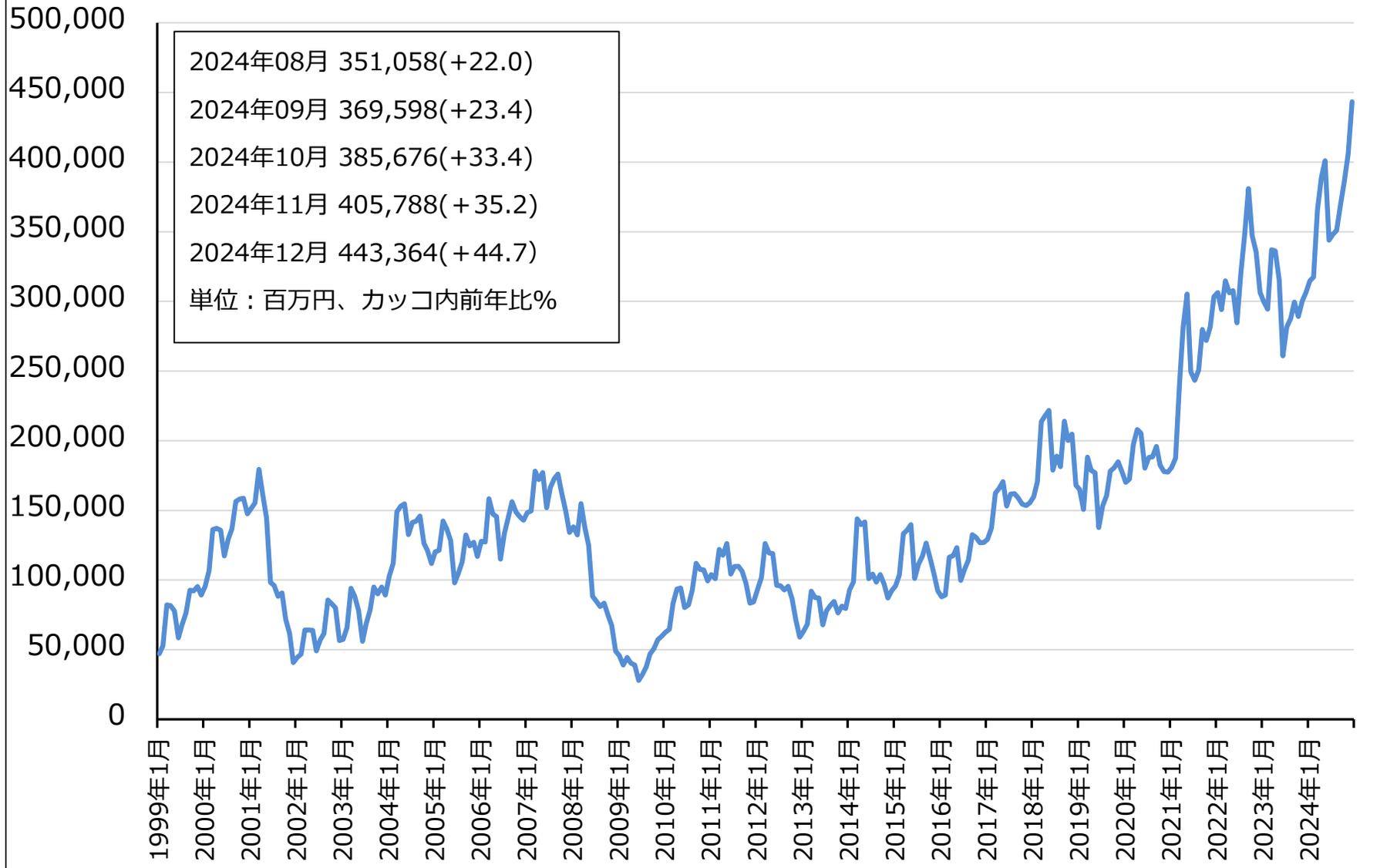
TSMCの月次売上高

(単位：100万台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



日本製半導体製造装置販売高（3カ月移動平均）

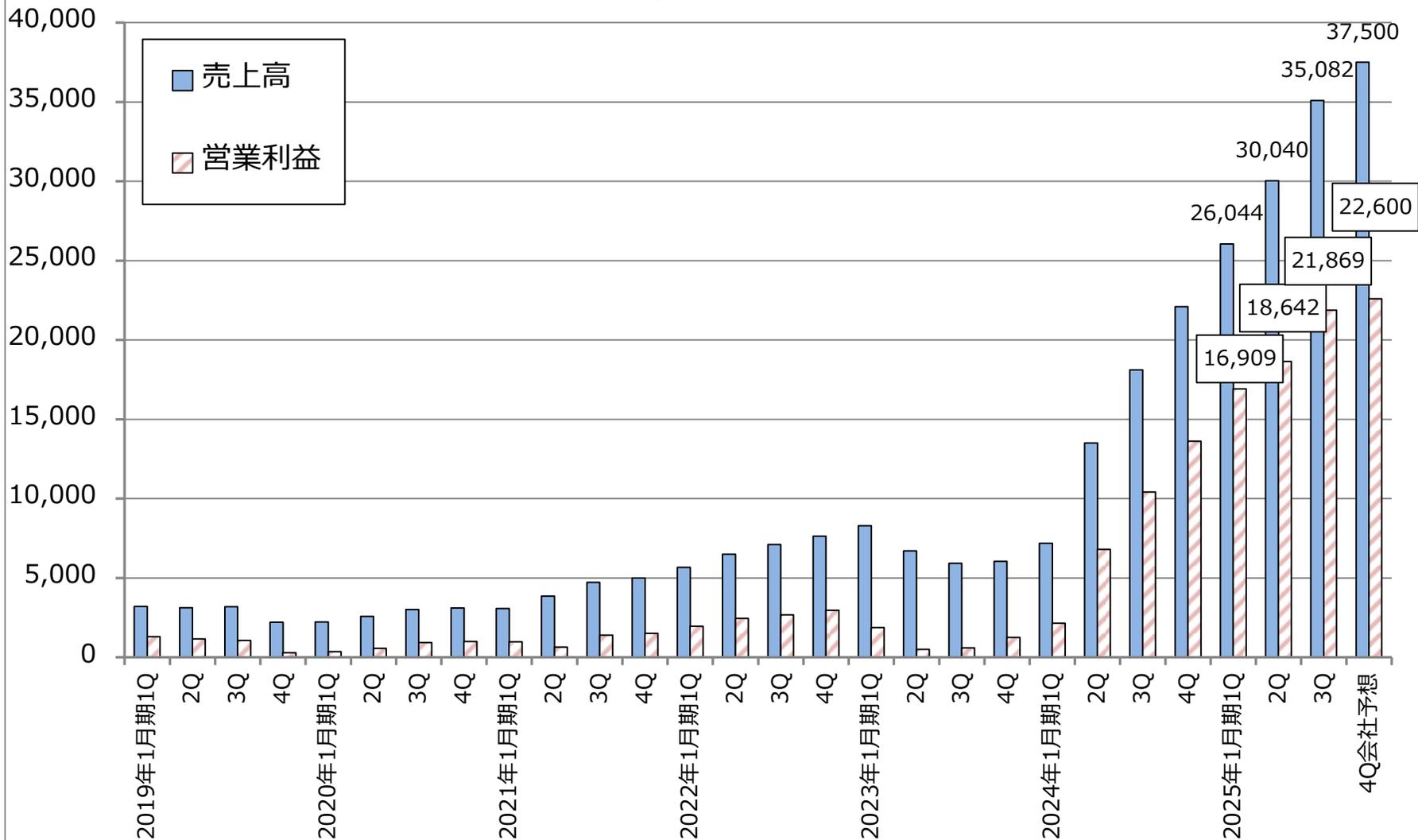
（出所：日本半導体製造装置協会、単位：100万円、%）



エヌビディアの四半期業績

(単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成。)

注：2025年1月期4Q会社予想は予想レンジの平均値)



エヌビディアの業績

	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期 楽天証券予想 (前回)	2025年1月期 楽天証券予想 (今回)	2026年1月期 楽天証券予想 (前回)	2026年1月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	26,974	60,922	123,000	128,700	180,000	212,000
前年比	0.2%	125.9%	101.9%	111.3%	46.3%	64.7%
営業利益	4,224	32,972	76,000	80,000	115,000	131,000
営業利益率	15.7%	54.1%	61.8%	62.2%	63.9%	61.8%
前年比	-57.9%	680.6%	130.5%	142.6%	51.3%	63.8%
当期純利益	4,368	29,760	66,000	70,000	96,700	110,600
前年比	-55.2%	581.3%	121.8%	135.2%	46.5%	58.0%
EPS	0.18	1.20	2.66	2.83	3.90	4.46
配当	0.016	0.016	0.040	0.040	0.040	0.040
PER	736.4	108.1	48.7	46.0	33.3	29.1

株価 129.84 ドル (2025年2月7日)

時価総額 3,185,365 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 24,774 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 24,533 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

TSMCの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	592,644	673,510	759,692	868,461	833,100
前年比	16.5%	40.1%	39.0%	38.8%	40.6%
営業利益	249,018	286,556	360,766	425,713	395,700
営業利益率	42.0%	42.5%	47.5%	49.0%	47.5%
前年比	7.7%	41.9%	58.2%	63.6%	58.9%
当期純利益	225,485	247,662	325,258	374,680	
前年比	8.9%	36.2%	54.2%	57.0%	

単位：百万台湾ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

TSMCのAI半導体売上高

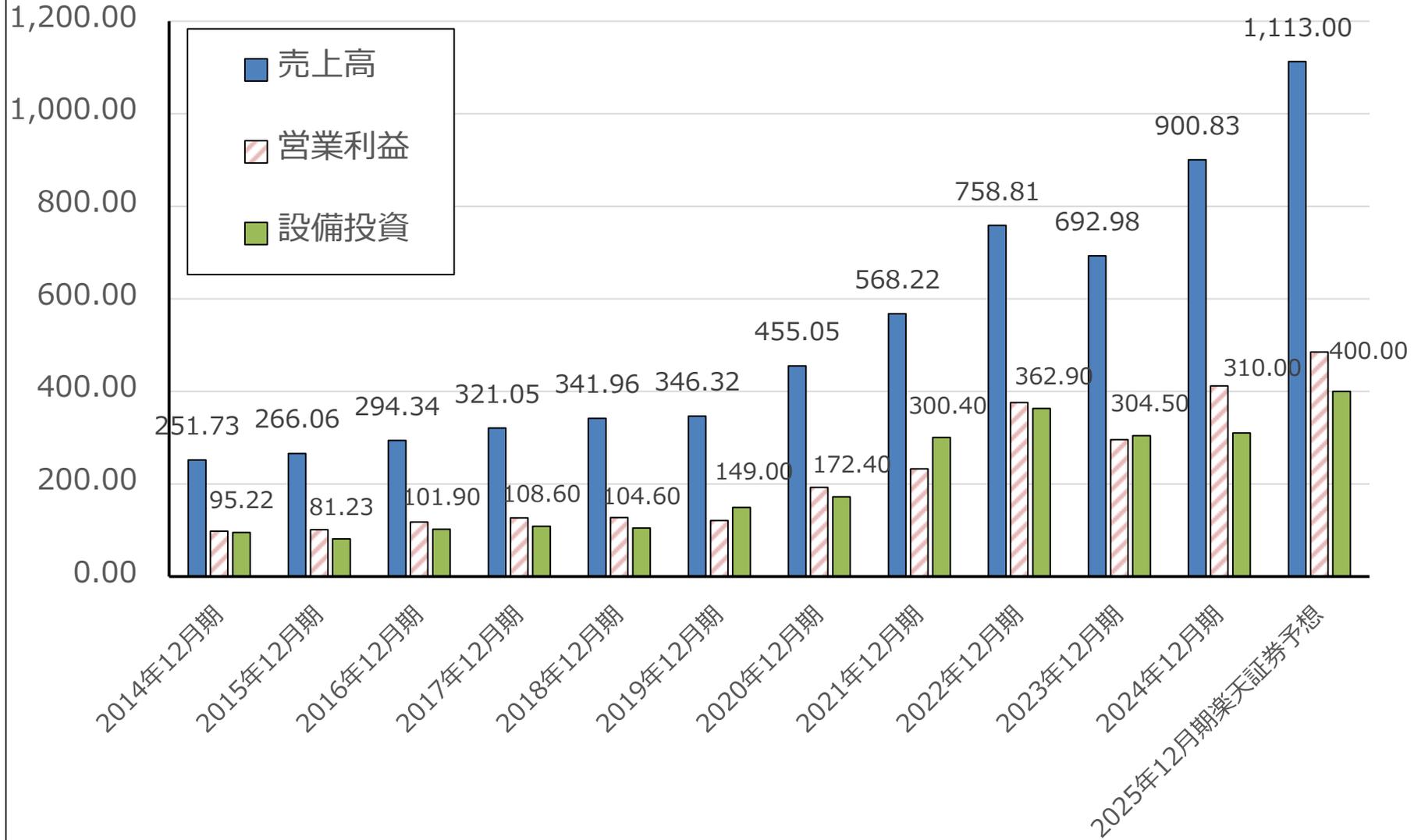
	2023年12月期 楽天証券推定	2024年12月期 楽天証券推定	2025年12月期 会社予想推定 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回)
TSMC全売上高 前年比	2,161,736	2,894,308 33.9%	3,610,000 24.7%	3,650,000 26.1%	4,600,000 26.0%
AI半導体売上高 AI半導体売上構成比 前年比	140,000 6.5%	430,000 14.9% 207.1%	860,000 23.8% 100.0%	890,000 24.4% 107.0%	1,300,000 28.3% 46.1%
AI半導体以外の売上高 前年比	2,021,736	2,464,308 21.9%	2,750,000 11.6%	2,760,000 12.0%	3,300,000 19.6%

単位：100万台湾ドル

出所：会社資料、会社コメントより楽天証券推定。

TSMCの売上高、営業利益と設備投資

(単位：億USドル、出所：会社資料より楽天証券証券作成、予想は楽天証券)



TSMCの業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 楽天証券予想 (前回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	2,263,891	2,161,736	2,894,308	3,650,000	3,650,000	4,600,000
前年比	42.6%	-4.5%	33.9%	26.1%	26.1%	26.0%
営業利益	1,121,279	921,466	1,322,053	1,750,000	1,590,000	2,040,000
営業利益率	49.5%	42.6%	45.7%	47.9%	43.6%	44.3%
前年比	72.5%	-17.8%	43.5%	32.4%	20.3%	28.3%
当期純利益	1,016,530	838,498	1,173,268	1,591,000	1,411,000	1,810,000
前年比	70.4%	-17.5%	39.9%	35.6%	20.3%	28.3%
EPS	39.20	32.34	45.25	61.36	54.42	69.80
配当	11.0	13.0	17.0	16.0	17.0	17.0
PER (台湾ベース、倍)	28.7	34.8	24.9	18.3	20.7	16.1
EPS (ADRベースUSドル)	5.96	4.92	6.88	9.33	8.27	10.61
PER (ADRベース、倍)	37.7	45.7	32.7	24.1	27.2	21.2

株価 (台湾) 1,125.00 台湾ドル (2025年2月7日)

株価 (NYSE ADR) 224.87 USドル (2025年2月7日)

時価総額 1,166,176 百万USドル (2025年2月7日)

発行済株数 25,930 百万株 (完全希薄化後)

1台湾ドル 0.0304 USドル (2025年2月7日)

単位 : 百万台湾ドル、台湾ドル、米ドル、%、倍

出所 : 会社資料より楽天証券作成。

注1 : 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2 : TSMCは台湾市場に株式を、ニューヨーク市場にADRを上場している。ここではADRの株価によってPERと時価総額を計算した。

注3 : TSMCのADRは普通株5株からなる。

ブロードコムの業績

	2024年10月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年10月期 1Q会社予想	1Q楽天証券 予想
売上高	11,961	12,487	13,072	14,054	14,600	14,600
前年比	34.2%	43.0%	47.3%	51.2%	22.1%	22.1%
営業利益	2,083	2,965	3,788	4,627		5,200
営業利益率	17.4%	23.7%	29.0%	32.9%		35.6%
前年比	-49.2%	-26.0%	-1.8%	9.1%		149.6%
当期純利益	1,325	2,121	-1,875	4,324		3,700
前年比	-64.9%	-39.1%	-156.8%	22.7%		179.2%

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

ブロードコムのセグメント別売上高内訳：通期ベース

セミコンダクター・ソリューションズの売上高内訳：通期ベース

	2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期 楽天証券予想	2026年10月期 楽天証券予想
ネットワーク	10,800	15,600	20,800	29,000
ワイヤレス	7,300	7,500	7,500	7,500
サーバー・ストレージ接続	4,500	3,564	4,000	4,500
ブロードバンド	4,450	2,692	3,000	3,300
産業用再販	961	786	700	700
その他	171	-46	0	0
合計	28,182	30,096	36,000	45,000
うちAI関連売上高	3,800	12,200	17,000	25,000
うち非AI関連売上高	24,382	17,896	19,000	20,000

単位：100万ドル

出所：決算電話会議より楽天証券作成

インフラストラクチャー・ソフトウェアの売上高内訳：通期ベース

	2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期 楽天証券予想	2026年10月期 楽天証券予想
VMware		12,388	16,000	19,000
ブロードコム・ソフトウェア	7,637	9,090	10,000	11,000
合計	7,637	21,478	26,000	30,000

単位：100万ドル

出所：決算電話会議より楽天証券作成

ブロードコム[®]の業績

	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期 楽天証券予想 (前回)	2025年10月期 楽天証券予想 (今回)	2026年10月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	33,203	35,819	51,574	62,000	62,000	75,000
前年比	21.0%	7.9%	44.0%	20.2%	20.2%	21.0%
営業利益	14,225	16,207	13,463	20,000	22,500	33,000
営業利益率	42.8%	45.2%	26.1%	32.3%	36.3%	44.0%
前年比	67.0%	13.9%	-16.9%	48.6%	67.1%	46.7%
当期純利益	11,223	14,082	5,895	17,400	16,600	26,200
前年比	74.4%	25.5%	-58.1%	195.2%	181.6%	57.8%
EPS	2.32	2.92	1.22	3.60	3.44	5.43
配当	1.690	1.905	2.105	2.100	2.360	2.360
PER	96.7	77.1	184.2	62.4	65.4	41.4

株価 (NASDAQ) 224.87 ドル (2025年2月7日)

時価総額 1,052,167 百万ドル (2024年2月7日)

発行済株数 4,828 百万株(完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 4,679 百万株(完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

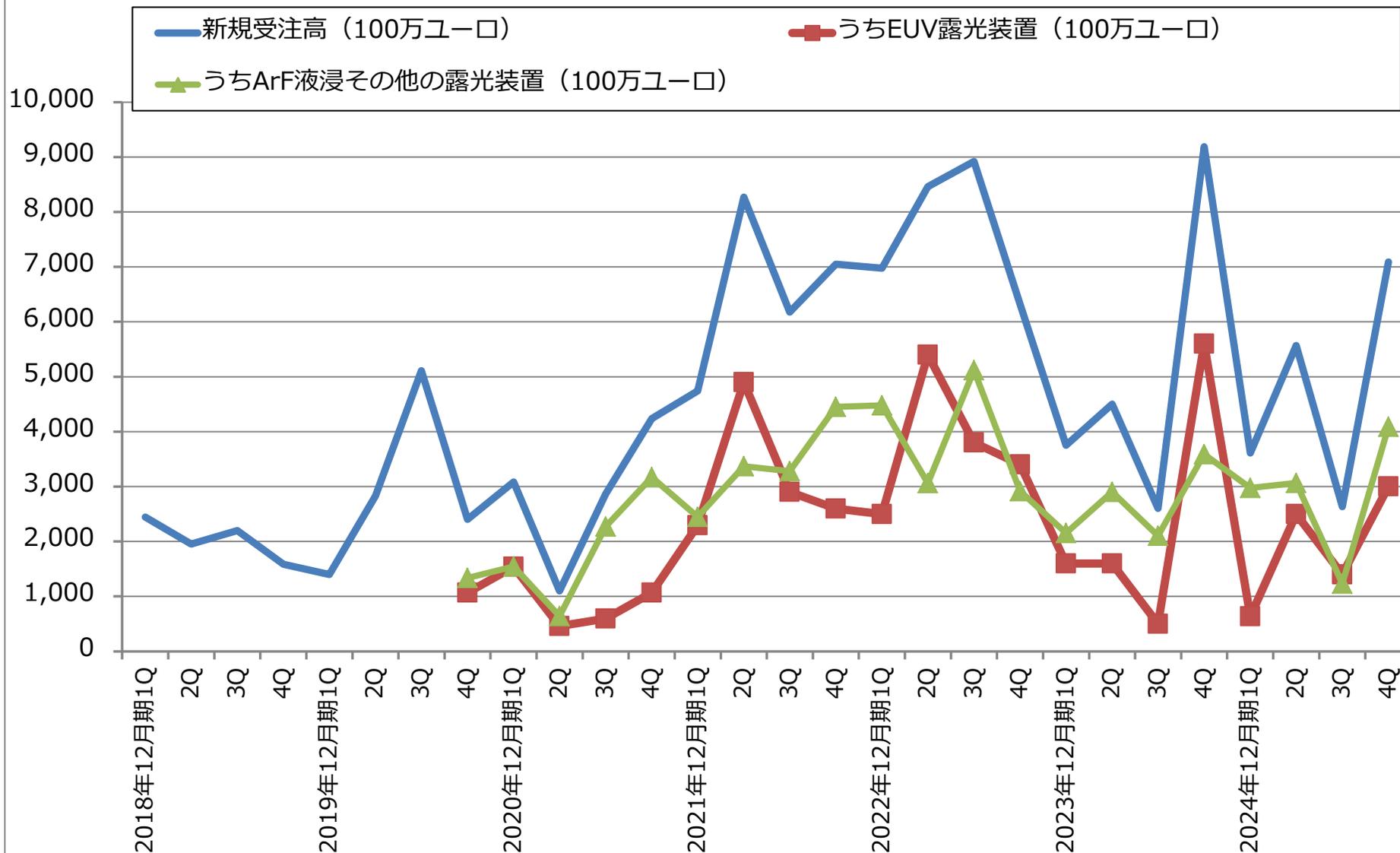
出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

ASMLホールディングスの新規受注高

(単位：100万ユーロ、出所：会社資料より楽天証券作成)



4. 「非主流派」銘柄に注目したい

- ✓ AI半導体の将来（金額面の成長率）に疑問符が付き始めた。
- ✓ 生成AIでは、DeepSeekのような安い生成AIを作る会社が出てくると、生成AIを作る会社よりも使う会社、特定分野でのAI技術が優れている会社が優位になろう。
- ✓ 従来の主力銘柄とは違う、「非主流派」銘柄に注目したい。
- ✓ パランティア・テクノロジーズ、フォーティネット
- ✓ ネットフリックス、スポティファイ
- ✓ メタ・プラットフォームズ、アマゾン・ドット・コム、アルファベット
- ✓ セールスフォース、IBMなど

パランティア・テクノロジーズの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	634	678	726	828	860
前年比	20.8%	27.2%	30.1%	36.2%	35.6%
営業利益	81	105	113	11	
営業利益率	12.8%	15.5%	15.6%	1.3%	
前年比	1925.0%	950.0%	182.5%	-83.3%	
当期純利益	106	134	144	79	
前年比	523.5%	378.6%	100.0%	-15.1%	

単位：百万ドル、%

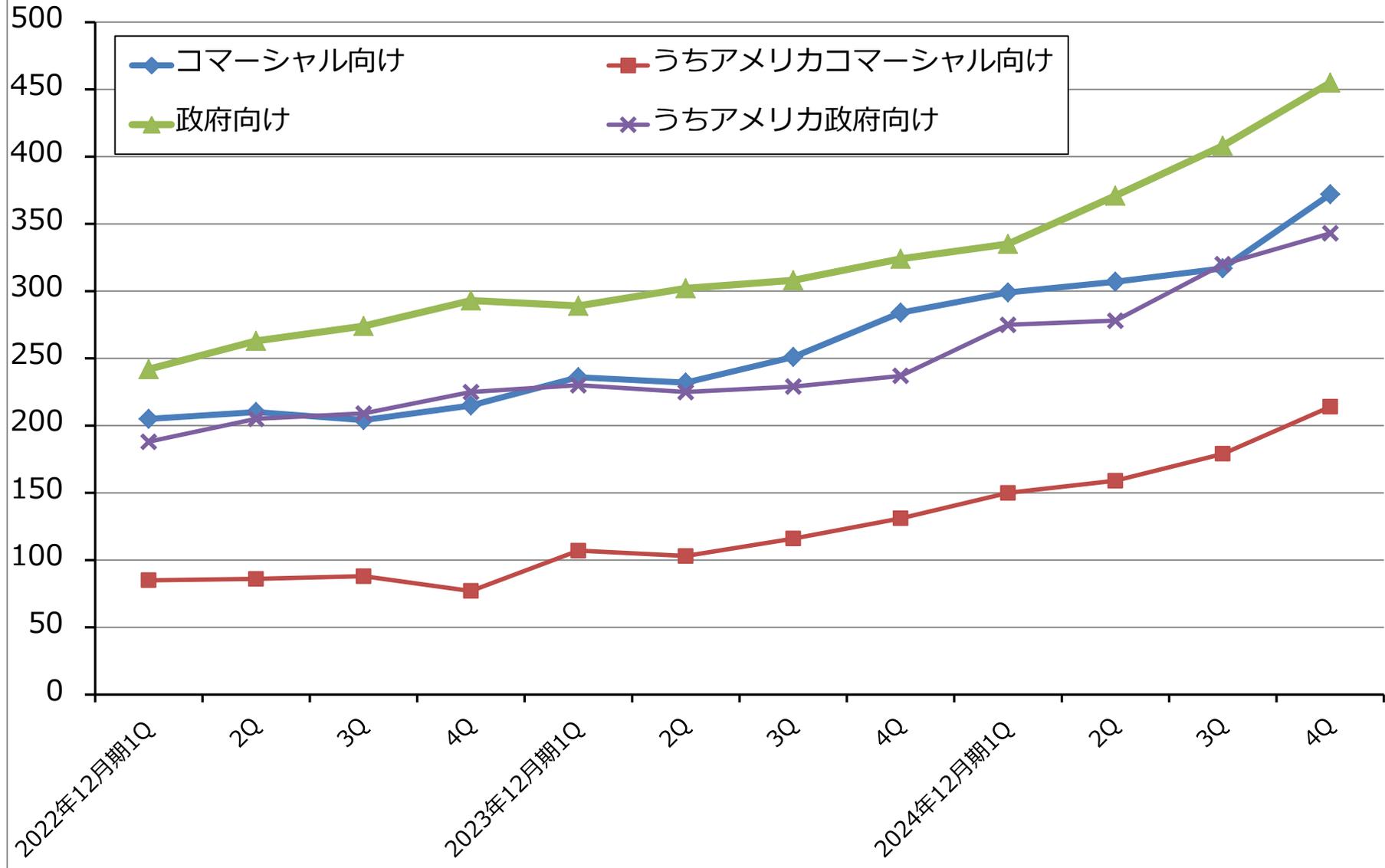
出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

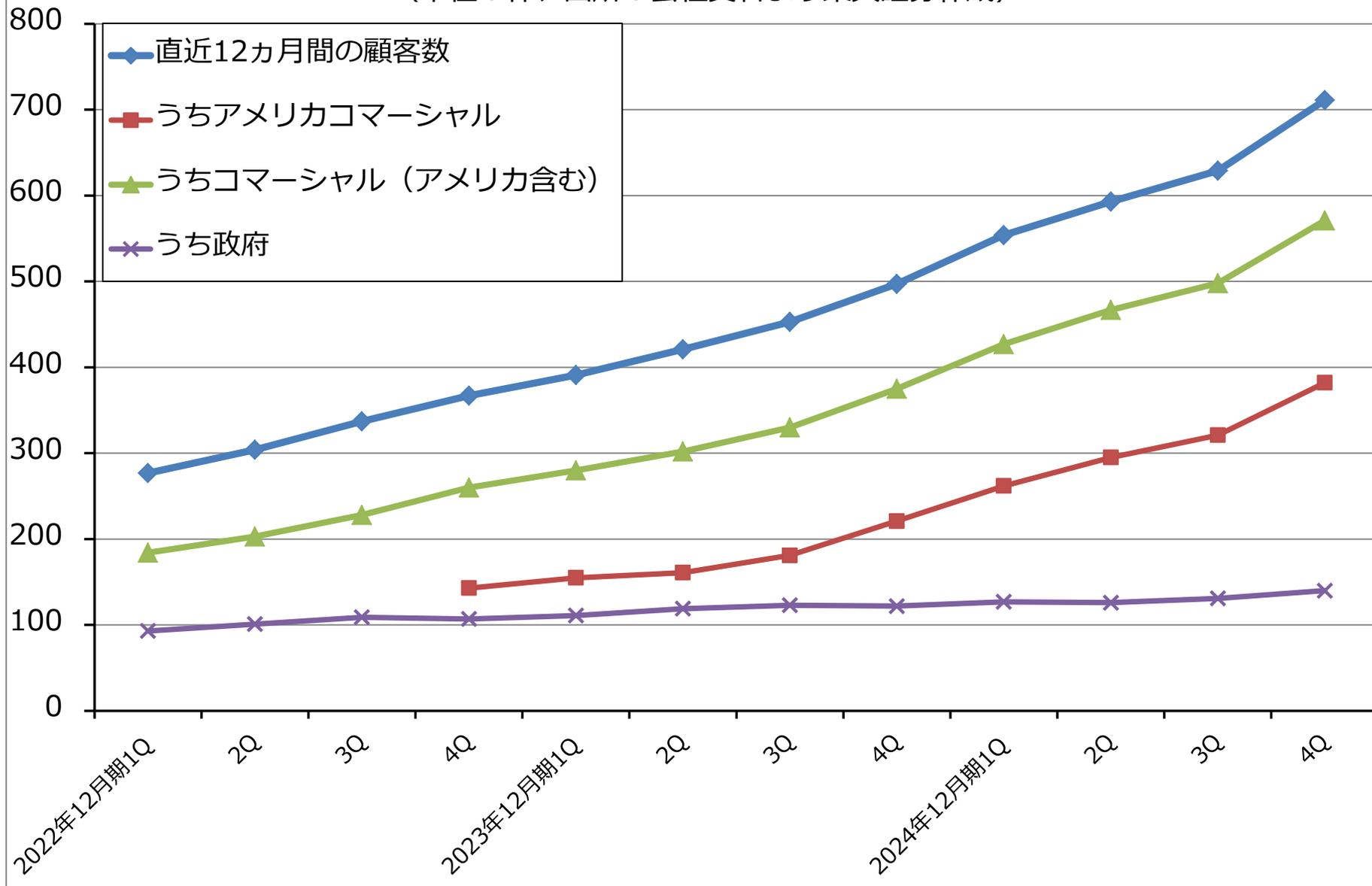
パランティア・テクノロジーズの顧客属性別売上高

(単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



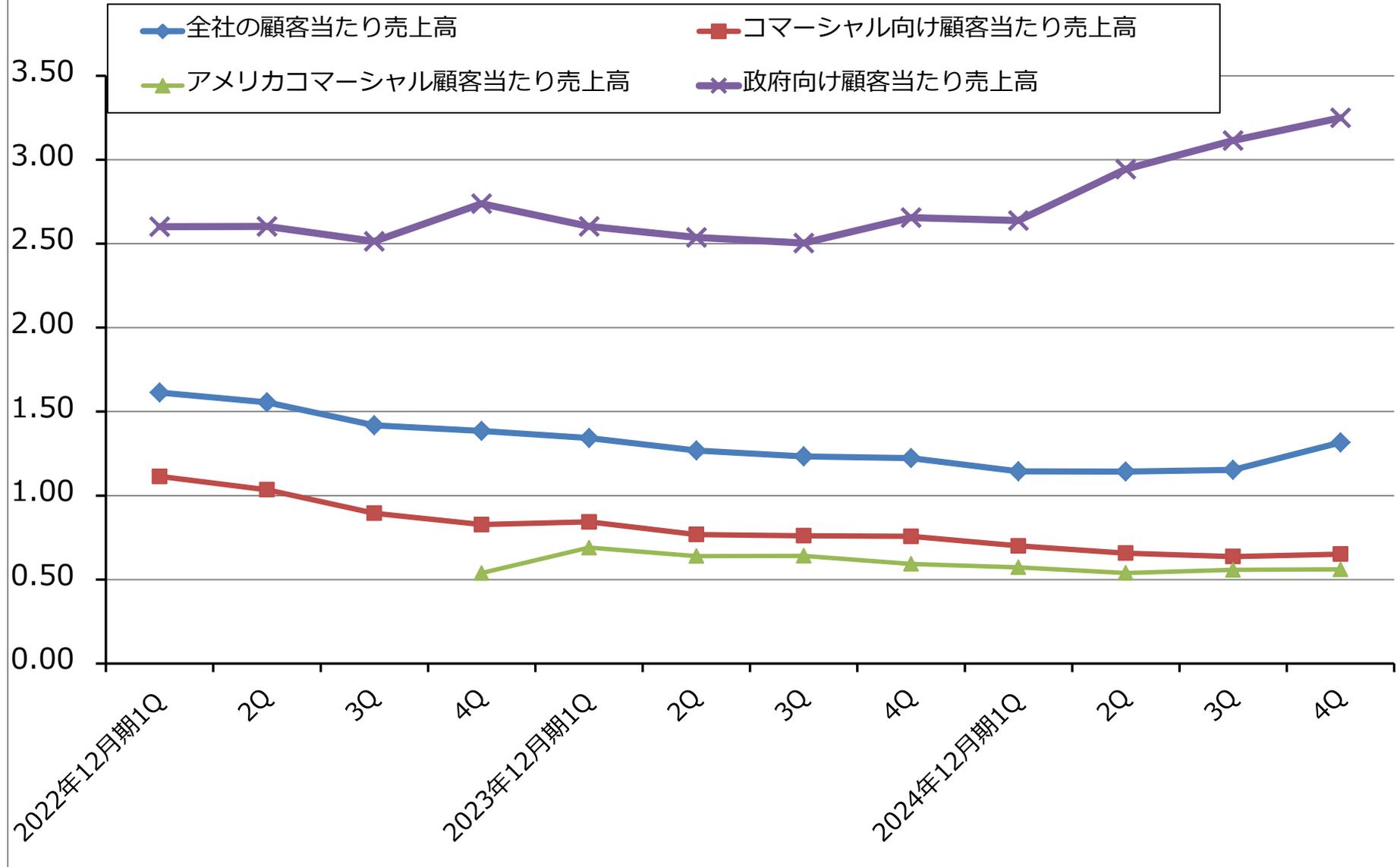
パランティア・テクノロジーズ：直近12か月間の顧客数

(単位：件、出所：会社資料より楽天証券作成)



パランティア・テクノロジーズ：顧客当たり売上高

(単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



パランティア・テクノロジーズの業績

	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 会社予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (前回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)	2026年12月期 楽天証券予想 (前回、参考値)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回)	2027年12月期 楽天証券予想 (今回、参考値)
売上高	2,225	2,866	3,749	3,840	3,800	5,600	5,300	7,600
前年比	16.7%	28.8%	30.8%	34.0%	32.6%	45.8%	39.5%	43.4%
営業利益	120	310		940	690	2,200	1,400	2,900
営業利益率	5.4%	10.8%		24.5%	18.2%	39.3%	26.4%	38.2%
前年比	黒転	158.3%		203.2%	122.6%	134.0%	102.9%	107.1%
当期純利益	210	462		840	690	1,980	1,260	2,610
前年比	黒転	120.0%		81.8%	49.4%	135.7%	82.6%	107.1%
EPS(ドル)	0.08	0.18		0.33	0.27	0.78	0.50	1.03
配当(ドル)	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER(倍)	1,334.6	606.6		333.6	406.2	141.5	222.4	107.4

株価 110.85 ドル (2025年2月7日)

時価総額 255,496 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 2,528.279 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 2,304.883 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

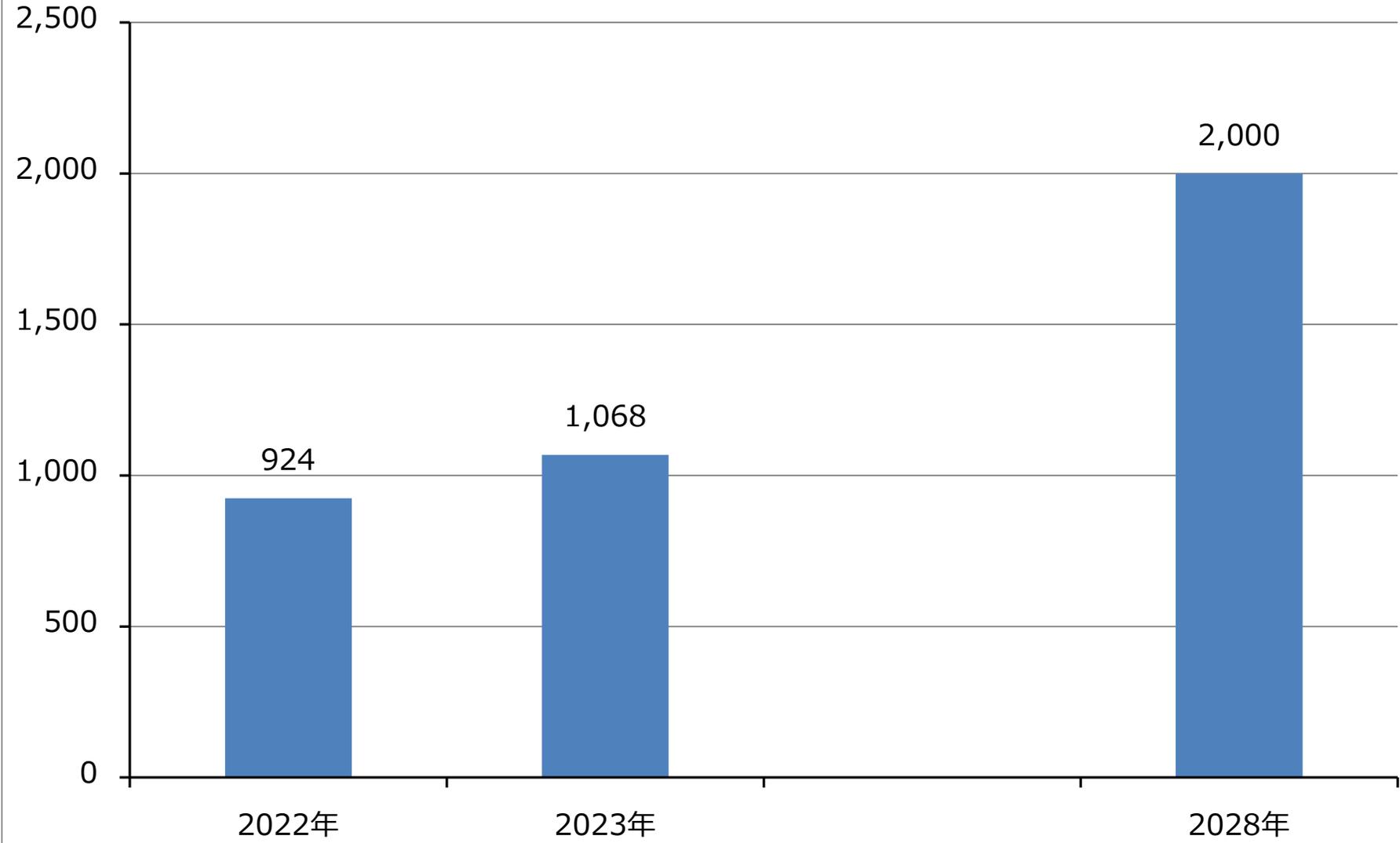
注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

注3：会社予想は予想レンジの平均値。

セキュリティ製品の世界市場

(単位：億ドル、出所：IDCプレスリリースより楽天証券作成)



フォーティネットの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	1,353.3	1,434.3	1,508.1	1,660.1	1,530.0
前年比	7.2%	10.9%	13.0%	17.3%	13.1%
営業利益	321.2	437.2	470.9	574.1	
営業利益率	23.7%	30.5%	31.2%	34.6%	
前年比	17.4%	56.7%	55.3%	49.0%	
当期純利益	299.3	379.8	539.9	526.2	
前年比	20.8%	42.6%	67.2%	69.3%	

単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

フォーティネットの業績

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 会社予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)
売上高	3,342.2	4,417.4	5,304.8	5,955.8	6,750.0	6,800.0	7,800.0
前年比	28.8%	32.2%	20.1%	12.3%	13.3%	14.2%	14.7%
営業利益	650.4	969.6	1,241.1	1,803.4		2,300.0	2,900.0
営業利益率	19.5%	21.9%	23.4%	30.3%		33.8%	37.2%
前年比	22.3%	49.1%	28.0%	45.3%		27.5%	26.1%
当期純利益	606.8	857.3	1,147.8	1,745.2		2,220.0	2,790.0
前年比	24.2%	41.3%	33.9%	52.0%		27.2%	25.7%
EPS	0.78	1.11	1.48	2.25		2.86	3.60
配当	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
PER	137.5	97.3	72.7	47.8		37.6	29.9

株価 (Nasdaq) 107.66 米ドル (2025年2月7日)
 時価総額 82,521 百万ドル (2025年2月7日)
 発行済株数 775.2 百万株 (完全希薄化後、Diluted)
 発行済株数 766.5 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後発行済み株式数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前発行済み株式数で計算。

注3：会社予想は予想レンジの平均値。

ネットフリックスの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	9,370	9,559	9,825	10,247	10,416
前年比	14.8%	16.8%	15.0%	16.0%	11.2%
営業利益	2,633	2,603	2,909	2,273	2,940
営業利益率	28.1%	27.2%	29.6%	22.2%	28.2%
前年比	53.6%	42.5%	51.8%	51.9%	11.7%
当期純利益	2,332	2,147	2,364	1,869	2,440
前年比	78.7%	44.3%	41.0%	99.3%	4.6%

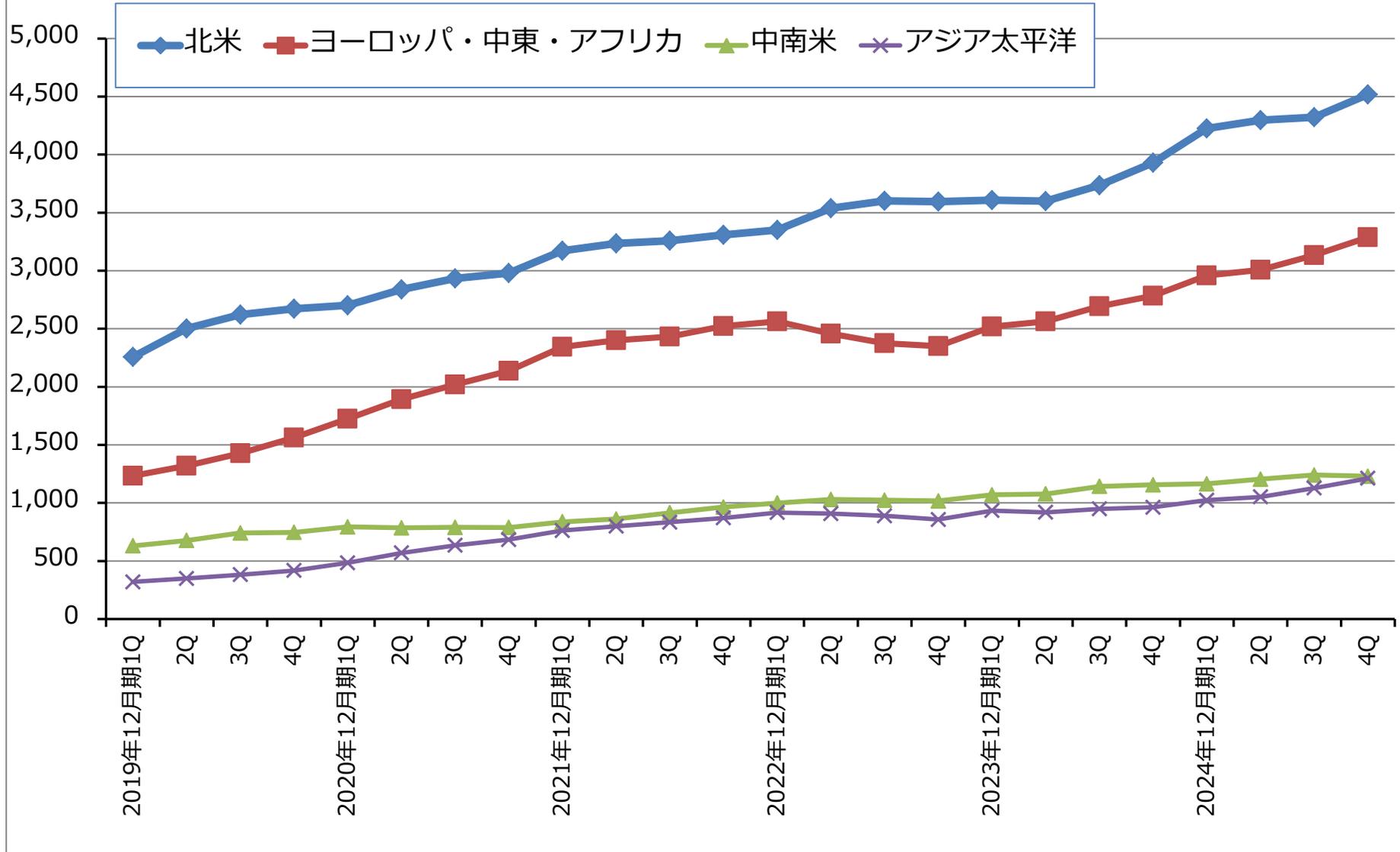
単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

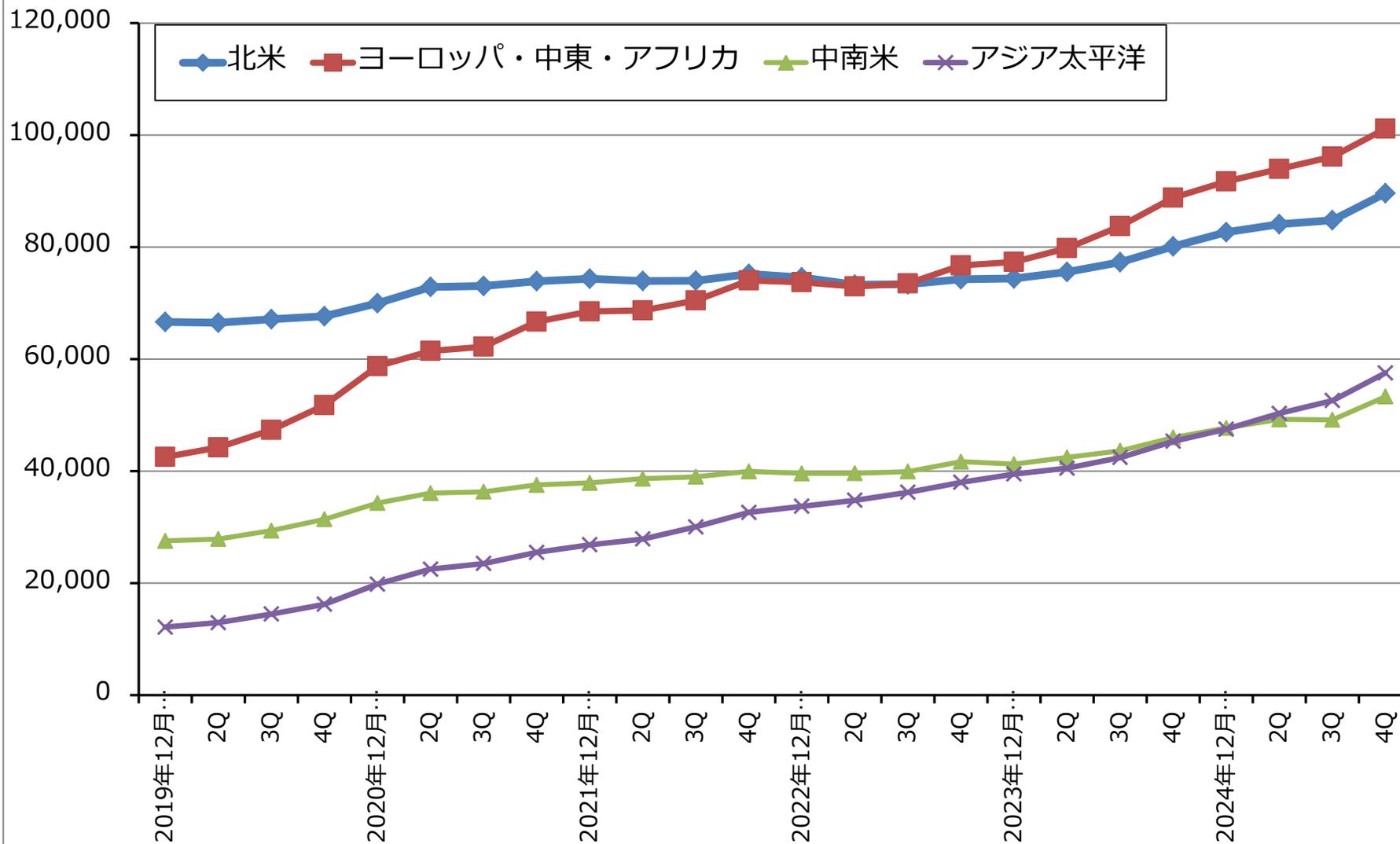
ネットフリックス：地域別売上高

(単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



Netflix: 期末有料会員数

(単位: 1000人、出所: 会社資料より楽天証券作成)



ネットフリックス：エンゲージメント・レポート

テレビ番組

タイトル	グローバル配信？	リリース日	総視聴時間	上映時間	視聴人数
2023年7-12月					
ONE PIECE: Season 1	Yes	2023-08-31	541,900,000	7:34	71,600,000
Dear Child: Limited Series // Liebes Kind: Miniserie	Yes	2023-09-07	252,800,000	4:49	52,500,000
Who is Erin Carter?: Limited Series	Yes	2023-08-24	286,200,000	5:43	50,100,000
Lupin: Part 3	Yes	2023-10-05	274,300,000	5:31	49,700,000
The Witcher: Season 3	Yes	2023-06-29	363,800,000	7:36	47,900,000
Sex Education: Season 4	Yes	2023-09-21	374,700,000	8:06	46,300,000
Beckham: Limited Series	Yes	2023-10-04	208,500,000	4:45	43,900,000
CoComelon: Season 8	Yes	2023-04-10	40,100,000	1:04	37,600,000
Virgin River: Season 5	Yes	2023-09-07	331,400,000	9:16	35,800,000
The Lincoln Lawyer: Season 2	Yes	2023-07-06	292,300,000	8:11	35,700,000
2024年1-6月					
Fool Me Once: Limited Series	Yes	2024-01-01	689,500,000	6:25	107,500,000
Bridgerton: Season 3	Yes	2024-05-16	733,800,000	7:59	91,900,000
Baby Reindeer: Limited Series	Yes	2024-04-11	347,600,000	3:58	87,600,000
The Gentlemen: Season 1	Yes	2024-03-07	507,300,000	6:41	75,900,000
Avatar The Last Airbender: Season 1	Yes	2024-02-22	515,300,000	7:15	71,100,000
Griselda: Limited Series	Yes	2024-01-25	383,000,000	5:32	69,200,000
American Nightmare: Season 1	Yes	2024-01-17	123,700,000	2:15	55,000,000
3 Body Problem: Season 1	Yes	2024-03-21	388,100,000	7:24	52,400,000
Berlin: Season 1 // Berlín: Temporada 1	Yes	2023-12-29	318,400,000	6:34	48,500,000
One Day: Limited Series	Yes	2024-02-08	263,000,000	6:40	39,400,000

単位：時、人

出所：会社資料より楽天証券作成

ネットフリックスの業績

	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 会社予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	33,723	39,001	44,000	45,000	52,500
前年比	6.7%	15.7%	12.8%	15.4%	16.7%
営業利益	6,954	10,418		13,500	17,500
営業利益率	20.6%	26.7%		30.0%	33.3%
前年比	23.5%	49.8%		29.6%	29.6%
当期純利益	5,408	8,712		11,300	14,600
前年比	20.4%	61.1%		29.7%	29.2%
EPS	12.35	19.90		25.81	33.35
配当	0.00	0.00		0.00	0.00
PER	82.1	51.0		39.3	30.4

株価 (Nasdaq) 1,013.93 米ドル (2025年2月7日)

時価総額 433,674 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 438 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 428 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後発行済み株式数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前発行済み株式数で計算。

注3：会社予想は予想レンジの平均値。

スポティファイ・テクノロジーの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	3,636	3,807	3,988	4,242	4,200
前年比	19.5%	19.8%	18.8%	15.6%	15.5%
営業利益	168	266	454	477	548
営業利益率	4.6%	7.0%	11.4%	11.2%	13.0%
前年比	黒転	黒転	1318.8%	黒転	226.2%
当期純利益	197	274	300	367	
前年比	黒転	黒転	361.5%	黒転	

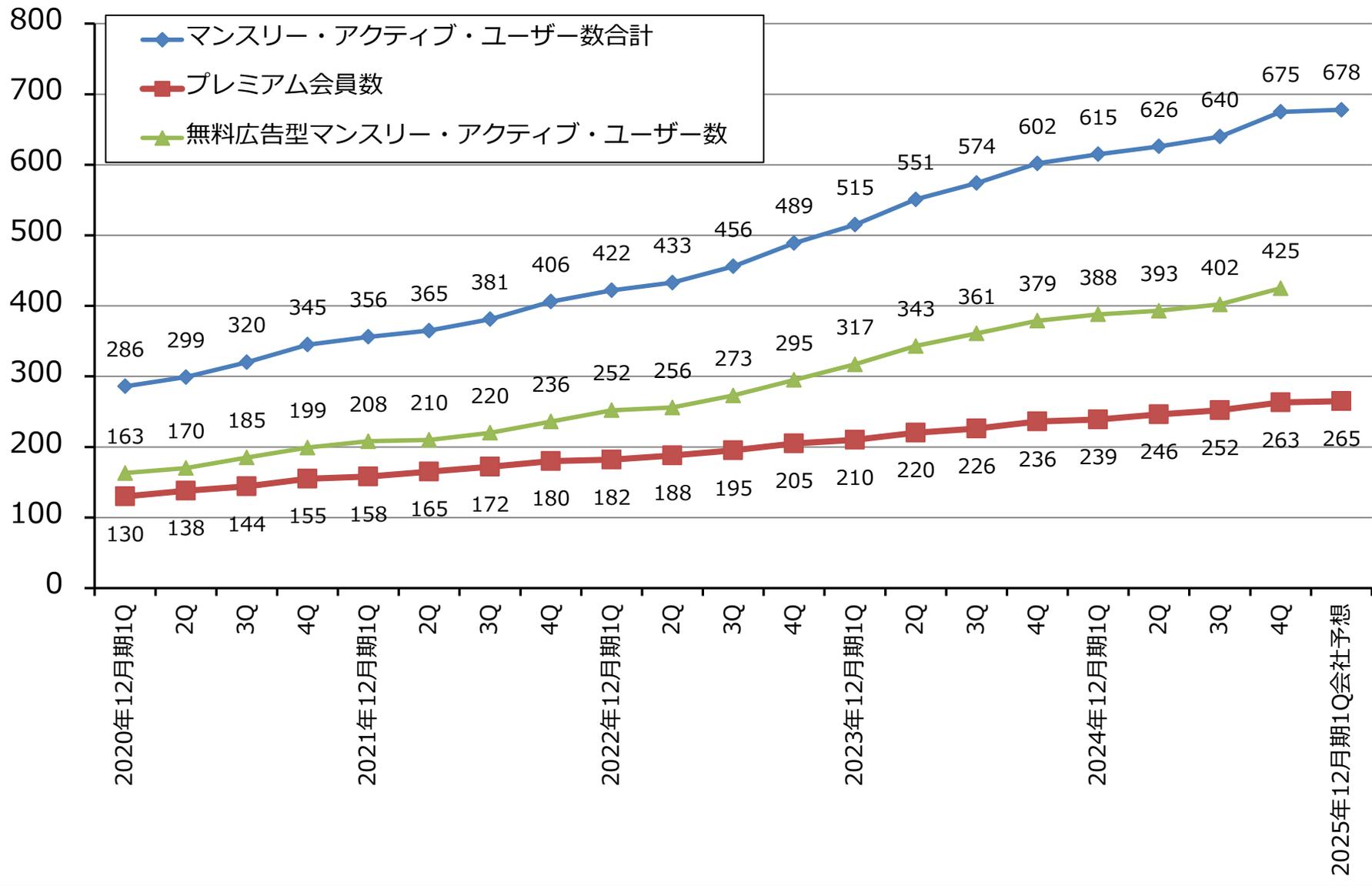
単位：百万ユーロ、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

スポティファイ・テクノロジーのマンスリーアクティブユーザー数

(単位：100万人、出所：会社資料より楽天証券作成)



スポティファイ・テクノロジーの業績

	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 楽天証券予想 (前回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)
売上高	13,247	15,673	18,200	18,200	21,200
前年比	13.0%	18.3%	16.1%	16.1%	16.5%
営業利益	-446	1,365	2,200	2,300	3,500
営業利益率	-3.4%	8.7%	12.1%	12.6%	16.5%
前年比	-32.3%	黒転	61.2%	68.5%	52.2%
当期純利益	-532	1,138	1,720	1,920	2,920
前年比	23.7%	黒転	51.1%	68.7%	52.1%
EPS (ユーロ)	-2.55	5.44	8.23	9.19	13.97
EPS (ドル)	-2.63	5.62	8.50	9.49	14.43
配当(ユーロ)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER(倍)	-237.0	110.8	73.3	65.7	43.2

株価 622.99 ドル (2025年2月7日)

時価総額 126,409 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 209.013 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 202.907 百万株 (完全希薄化前、Basic)

1ユーロ = 1.0327 ドル (2025/2/7)

単位：百万ユーロ、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

メタ・プラットフォームズの業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想
売上高	36,455	39,071	40,589	48,385	40,650
前年比	27.3%	22.1%	18.9%	20.6%	11.5%
営業利益	13,818	14,847	17,350	23,365	
営業利益率	37.9%	38.0%	42.7%	48.3%	
前年比	91.2%	58.1%	26.2%	42.6%	
当期純利益	12,369	13,465	15,688	20,838	
前年比	116.7%	72.9%	35.4%	48.7%	

単位：百万ドル、%

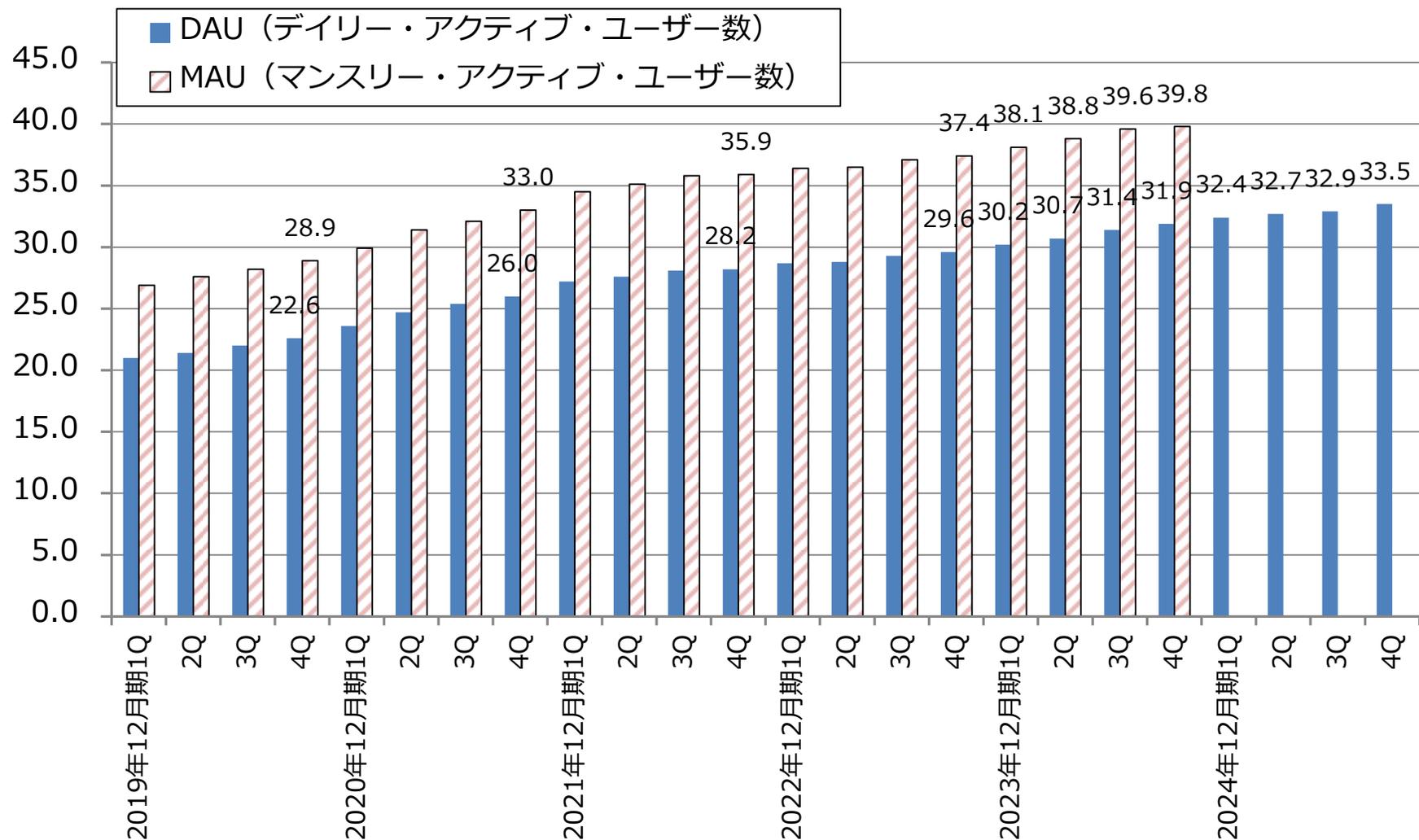
出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

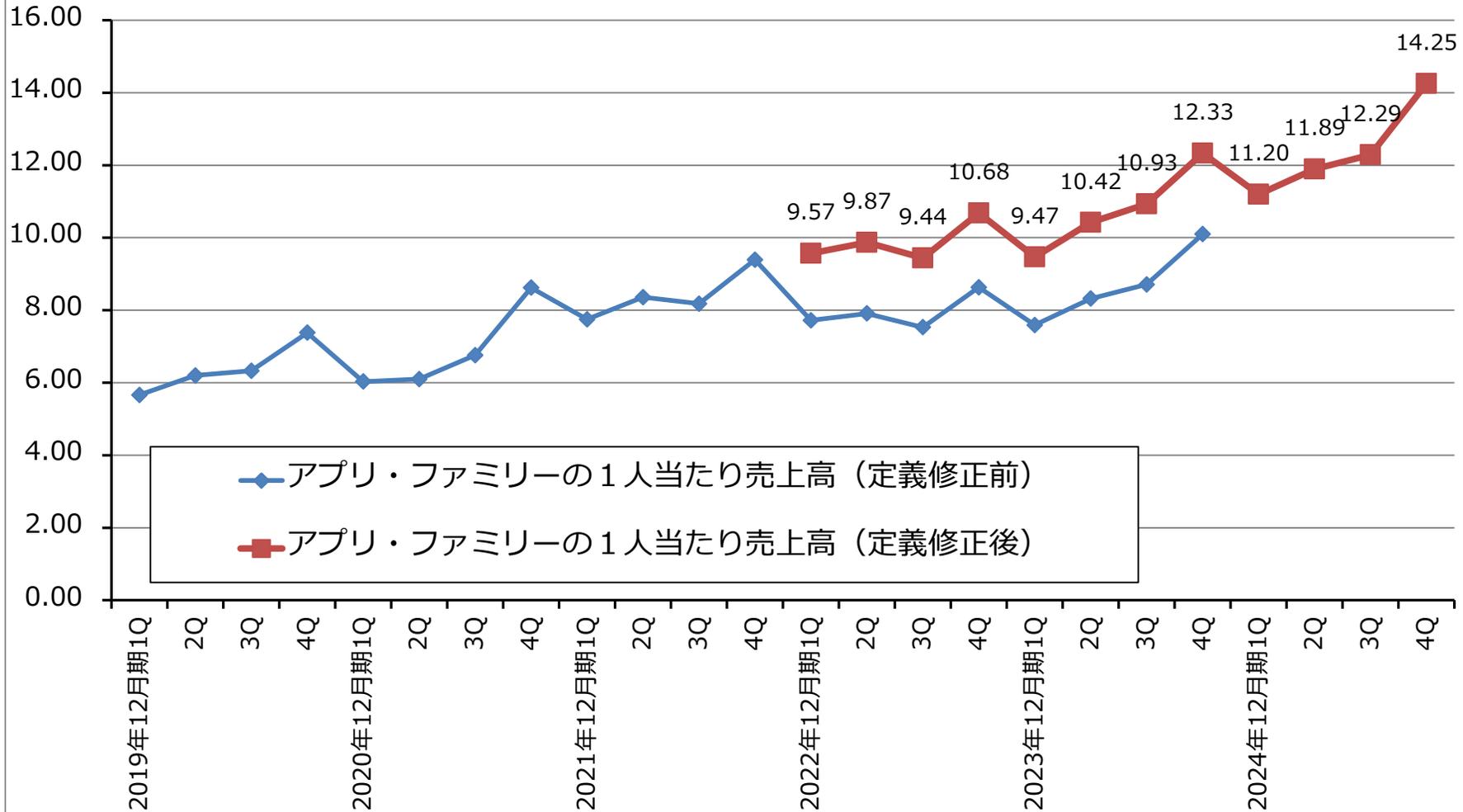
メタ・プラットフォームズ：アプリ・ファミリーのDAU、MAU

(単位：億人、出所：会社資料より楽天証券作成、注：フェイスブック、インスタグラム、メッセージャー、ワッツアップのいずれかに最低1回ログインしたユーザーのDAU、MAU)



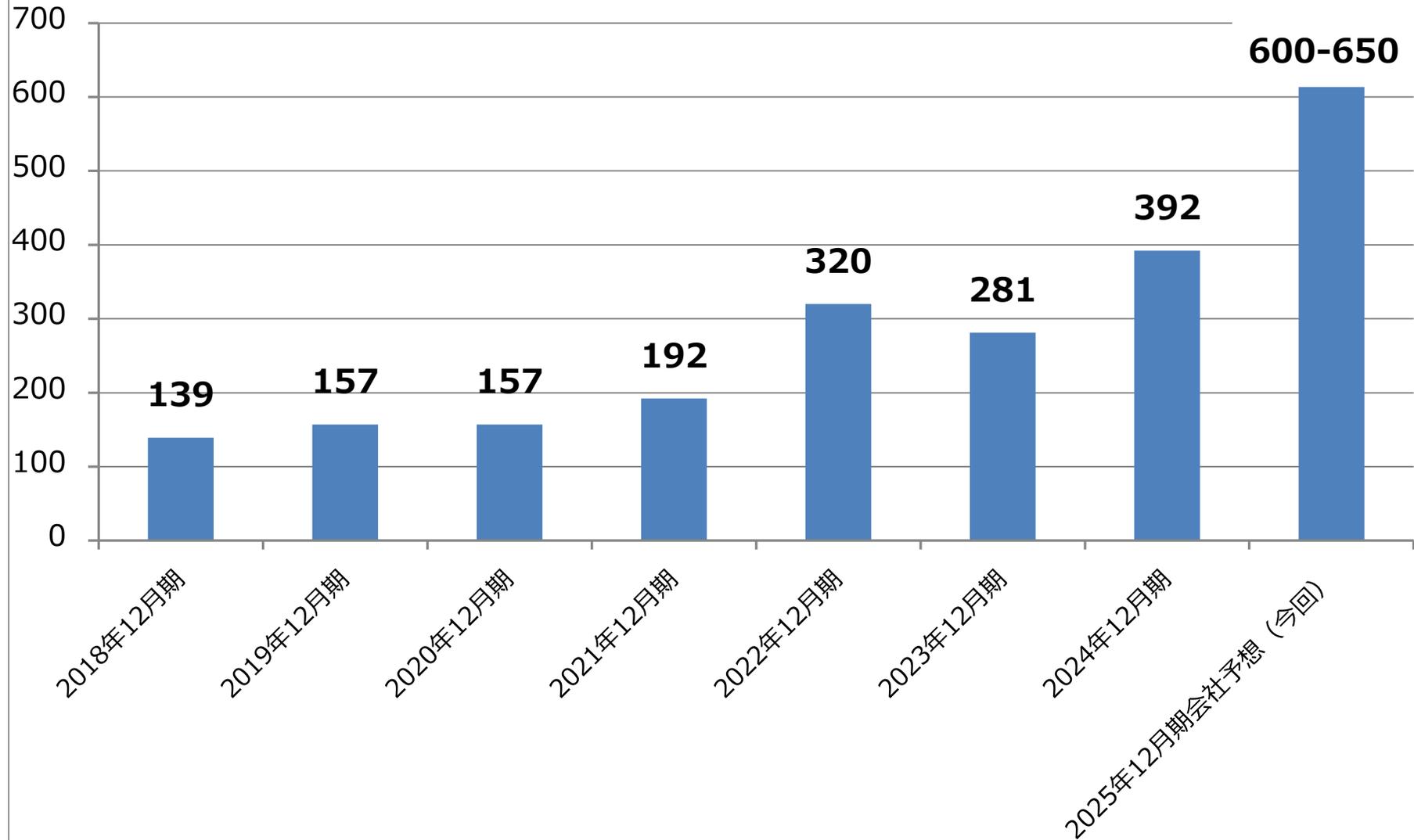
メタ・プラットフォームズ：アプリ・ファミリーの1人当たり売上高

(単位：ドル/人、出所：会社資料より楽天証券作成、注：ファミリー・オブ・アプス売上高をデイリーアクティブユーザー数（1日に各アプリのいずれかに最低1回ログインした人の数）で割ったもの。2024年12月期1Qより従来マンスリーアクティブユーザー数で割っていたものを変更した)



メタ・プラットフォームズの年間設備投資

(単位：億ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



メタ・プラットフォームズの業績

	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 楽天証券予想 (前回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	134,902	164,501	203,000	196,000	234,000
前年比	15.7%	21.9%	23.4%	19.1%	19.4%
営業利益	46,751	69,380	82,000	82,000	105,000
営業利益率	34.7%	42.2%	40.4%	41.8%	44.9%
前年比	61.5%	48.4%	18.2%	18.2%	28.0%
当期純利益	39,098	62,360	69,700	70,900	90,800
前年比	68.5%	59.5%	11.8%	13.7%	28.1%
EPS	14.98	23.89	26.70	27.16	34.79
配当	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00
PER	47.7	29.9	26.8	26.3	20.5

株価 714.52 ドル (2025年2月7日)

時価総額 1,810,594 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 2,610 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 2,534 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

アマゾン・ドット・コム¹の業績

	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年12月期 1Q会社予想	1Q楽天証券予想 (今回、暫定値)
売上高	143,313	147,977	158,877	187,792	153,250	155,000
前年比	12.5%	10.1%	11.0%	10.5%	6.9%	8.2%
営業利益	15,307	14,672	17,411	21,203	16,000	17,000
営業利益率	10.7%	9.9%	11.0%	11.3%	10.4%	11.0%
前年比	220.6%	91.0%	55.6%	60.5%	4.5%	11.1%
当期純利益	10,431	13,485	15,328	20,004		14,700
前年比	228.8%	99.8%	55.2%	88.3%		40.9%

単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

アマゾン・ドット・コム：セグメント別業績（四半期）

	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
北米								
売上高	76,881	82,546	87,887	105,514	86,341	90,033	95,537	115,586
前年比	11.0%	10.9%	11.5%	13.0%	12.3%	9.1%	8.7%	9.5%
営業利益	898	3,211	4,307	6,461	4,983	5,065	5,663	9,256
営業利益率	1.2%	3.9%	4.9%	6.1%	5.8%	5.6%	5.9%	8.0%
前年比	黒転	黒転	黒転	黒転	454.9%	57.7%	31.5%	43.3%
インターナショナル								
売上高	29,123	29,697	32,137	40,243	31,935	31,663	35,888	43,420
前年比	1.3%	9.7%	15.9%	16.8%	9.7%	6.6%	11.7%	7.9%
営業利益	-1,247	-895	-95	-419	903	273	1,301	1,315
営業利益率	-4.3%	-3.0%	-0.3%	-1.0%	2.8%	0.9%	3.6%	3.0%
前年比	赤字	赤字	赤字	赤字	黒転	黒転	黒転	黒転
AWS								
売上高	21,354	22,140	23,059	24,204	25,037	26,281	27,452	28,786
前年比	15.8%	12.2%	12.3%	13.2%	17.2%	18.7%	19.1%	18.9%
営業利益	5,123	5,365	6,976	7,167	9,421	9,334	10,447	10,632
営業利益率	24.0%	24.2%	30.3%	29.6%	37.6%	35.5%	38.1%	36.9%
前年比	-21.4%	-6.1%	29.1%	37.7%	83.9%	74.0%	49.8%	48.3%

単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成

アマゾン・ドット・コム¹の業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期 楽天証券予想 (前回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)	2026年12月期 楽天証券予想 (今回、暫定値)
売上高	513,983	574,785	637,959	711,000	703,000	780,000
前年比	9.4%	11.8%	11.0%	11.4%	10.2%	11.0%
営業利益	12,248	36,852	68,593	87,000	83,000	102,000
営業利益率	2.4%	6.4%	10.8%	12.2%	11.8%	13.1%
前年比	-50.8%	200.9%	86.1%	26.8%	21.0%	22.9%
当期純利益	-2,722	30,425	59,248	73,100	71,700	88,100
前年比	赤転	黒転	94.7%	23.4%	21.0%	22.9%
EPS(ドル)	-0.25	2.82	5.50	6.79	6.66	8.18
配当(ドル)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER(倍)	-906.8	81.1	41.7	33.8	34.4	28.0

株価 229.15 ドル (2025年2月7日)

時価総額 2,417,991 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 10,771 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 10,552 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

クライアントマネジメントシステム (CRM) の世界シェア (2023年)

順位	企業名	世界シェア
1	セールスフォース	21.7%
2	マイクロソフト	5.9%
3	オラクル	4.4%
4	SAP	3.5%
5	アドビ	3.4%

出所：IDC。元出所はCX Today。

セールスフォースの業績

	2024年1月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2025年1月期 1Q	2Q	3Q	4Q会社予想
売上高	8,247	8,603	8,720	9,287	9,133	9,325	9,444	10,000
前年比	11.3%	11.4%	11.3%	10.8%	10.7%	8.4%	8.3%	7.7%
営業利益	412	1,476	1,501	1,622	1,709	1,783	1,893	2,120
営業利益率	5.0%	17.2%	17.2%	17.5%	18.7%	19.1%	20.0%	21.2%
前年比	1960.0%	664.8%	226.3%	354.3%	314.8%	20.8%	26.1%	30.7%
当期純利益	199	1,267	1,224	1,446	1,533	1,429	1,527	1,530
前年比	610.7%	1763.2%	482.9%	-1575.5%	670.4%	12.8%	24.8%	5.8%

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジのレンジ平均値。

セールスフォースの業績

	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期 会社予想 (前回)	2025年1月期 会社予想 (今回)	2025年1月期 楽天証券予想 (今回)	2026年1月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	31,352	34,857	37,850	37,900	37,900	41,400
前年比	18.3%	11.2%	8.6%	8.7%	8.7%	9.2%
営業利益	1,030	5,011	7,456	7,504	7,500	10,600
営業利益率	3.3%	14.4%	19.7%	19.8%	19.8%	25.6%
前年比	88.0%	386.5%	48.8%	49.8%	49.7%	41.3%
当期純利益	208	4,136	5,926	6,021	6,000	8,510
前年比	-85.6%	1888.5%	43.3%	45.6%	45.1%	41.8%
EPS(ドル)	0.22	4.29	6.14	6.24	6.22	8.82
配当(ドル)	0.00	0.00			1.60	1.60
PER(倍)	1,511.7	76.0	53.1	52.2	52.4	36.9

株価 325.83 ドル (2025年2月7日)

時価総額 311,493 百万ドル (2025年2月7日)

発行済株数 965 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 956 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

注3：会社予想は予想レンジのレンジ平均値。

5. まとめと注目銘柄

●マイクロソフト (MSFT、NASDAQ)

エヌビディア (NVDA、NASDAQ)

TSMC (TSM、台湾、NYSE ADR)

ブロードコム (AVGO、NASDAQ)

ASMLホールディング (ASML、アムステルダム、NASDAQ)

- パランティア・テクノロジーズ (PLTR、NASDAQ)
- フォーティネット (FTNT、NASDAQ)
- ネットフリックス (NFLX、NASDAQ)
- スポティファイ (SPOT、NYSE)
- メタ・プラットフォームズ (META、NASDAQ)
- アマゾン・ドット・コム (AMZN、NASDAQ)
- セールスフォース (CRM、NYSE)

ご清聴ありがとうございました。

Rakuten 楽天証券